

令和8年度

長井市の教育

【資料編】

学校・施設運営計画等

山形県

長井市教育委員会／長井市

— 目 次 —

第1部【小中学校】

長井小学校	1
致芳小学校	5
西根小学校	7
平野小学校	11
豊田小学校	14
伊佐沢小学校	16
長井南中学校	20
長井北中学校	22
【資料】教職員・児童生徒数及び学級数	24

第2部【給食共同調理場】

長井市給食共同調理場	25
------------------	----

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

一般社団法人長井市コミュニティ協議会	29
①中央コミュニティセンター	32
②致芳コミュニティセンター	35
③西根コミュニティセンター	40
④平野コミュニティセンター	45
⑤伊佐沢コミュニティセンター	49
⑥豊田コミュニティセンター	53
長井市立図書館	60

第4部【文教施設】

長井市民文化会館	66
文教の杜ながい	68

第5部【スポーツ施設】

置賜生涯学習プラザ	70
-----------------	----

長井市立長井小学校

校 是

慈 愛

山形県の母なる川「最上川」。その川辺に在る長井市立長井小学校は長井市の機関校であり、西置賜の中心校です。長井市名誉市民の長沼孝三氏は「長井の心」が育まれることを願い、本校に「慈愛の像」を建立しました。その後数年を経て、長井小学校では校是を「慈愛」とし、平和と学びを愛する小学生を育成する学校を創造してきました。その平和が揺らぐ昨今にあっても、長井小学校の児童には心身ともに元気よく、未知の事象に挑む姿勢と優しく思いやりの心を持ってほしいと願い、令和8年度の学校目標・めざす子ども像を以下のように考えました。

1 学校教育目標・めざす子ども像

「元気」「挑戦」「思いやり」

心も、体も元気な子ども
主体的に、すすんで取り組む子ども
やさしく、思いやりのある子ども

めざす教職員

心身ともに健康で、明るく元気な教職員
研修に励み、アイデアを出し合う教職員
あたたかく、かつ高いプロ意識のある教職員

学校像

子どもの成長を願い、学校・家庭・地域が連携、協働する学校
子どもにとって、明日も来たくなる学校
保護者にとって、通わせて安心できる学校
地域にとって、大切にしたいと思う学校

2 学校経営の方針

学校教育における諸法規、山形県及び長井市の学校教育の方針を踏まえて学校経営にあたる。

(1) 教育課程の改善

- ① 児童の実態をもとに、目的を明確にした教育課程を編制する。
- ② 働き方改革の趣旨を踏まえ、教育活動の質の向上を図る。

(2) 教職員としての専門性向上

- ① 教職員自身が一番の教育環境であることを意識し、心身ともに健康で明るく職務

第1部【小中学校】

に取り組む。

- ② 自己研鑽に努めつつ、目標を達成に向かう教職員集団（チーム）作りに一人一人が寄与する姿勢を持つ。
- ③ あたたく児童に接し、かつ保護者や地域の願いを受けとめる、信頼される教職員を目指す。

(3) 安全・安心の確保

- ① 関係機関と連携し、児童の困り感に寄り添い、いじめ・不登校・問題行動等の未然防止と解決に注力する。
- ② 自然環境・地域環境の大きな変化を踏まえ、登下校を含めた教育活動全体の安全・安心の環境作りに取り組む。

(4) 故郷とともに歩む学校づくり

- ① 保護者や地域と連携・協働し、コミュニティ・スクールの実践活動を充実する。
- ② 地域人材や地域教材の導入・活用を促進し、ふるさと長井のよさを体験する活動を促進していく。

3 学校経営の重点及び具体策

(1) 学習指導

- ① わかる授業づくり
 - ・ 基礎的・基本的な資質・能力の育成（語彙、読む、書く）
 - ・ 基本的な内容の定着（目標と評価の吟味、各教科の見方・考え方）
 - ・ 適切な表現力の育成（根拠や筋道、各教科の用語や文章）
- ② ICTの活用
 - ・ 個別最適な学びにいかす（個をいかし、伸ばしていく ICT 活用）
 - ・ 協働的な学びにいかす（コミュニケーションツールとしての活用）
 - ・ 適切な情報モラルや安全意識の醸成（情報社会との適切なかかわり）
- ③ 主体的に学習に向かう姿勢づくり
 - ・ 探究を意識した児童の主体性を大切にした学習活動推進
 - ・ 読書環境づくりと読書機会の設定（日常的に本に親しむ）
 - ・ 家庭学習との連携推進（自ら取り組む家庭学習の工夫）

(2) 生徒指導

- ① 児童一人ひとりに寄り添った指導
 - ・ 児童の思いや行動の理解促進（観察、面談、アンケート）
 - ・ 主体的な児童会活動・学級活動・係活動の実施（気づき、考え、試行して改善へ）
 - ・ 明確なめあてと価値づける評価活動の推進（目標や道筋を示し、努力と変化を見取る）

② 多様性の受容と協働に関する指導

- ・ 多様な個性への理解促進（違いに触れ、気づき、考え、理解する）
- ・ 協働の経験の充実（個性の発揮、助け合い、歩み寄り、作り上げる）
- ・ 視野を広げ、生き方を考える時間の設定（考え議論する道徳、自分の行動を振り返る）

③ 相手意識と関わり方の指導

- ・ 聞き方・聞く力の育成（聞く構え、共感して聞く心を育成する）
- ・ 話し方・話す中身の育成（聞き手を意識して話す、相手への伝わり方を考える）
- ・ いじめ問題への対応（児童個々本人の納得、家庭との連携）

(3) 健康安全指導

① 生活習慣・健康意識の育成

- ・ 早寝、早起き、朝ご飯活動の推進（個への対応、家庭との連携）
- ・ メディアとの付き合い方を考える（適切な利用時間と有効な活用、家庭との情報共有）

② 体力づくりの推進

- ・ 体を使った遊びの奨励（環境づくり、全校・学年・学級での取り組み推進）
- ・ 運動に親しむ習慣作り（系統的な教科体育指導、児童個々へ対応した運動習慣づくりの充実）

③ 安全意識の高揚と危機回避能力の育成

- ・ 生活安全（日々の安全点検・朝の健康観察の徹底・食の安全）
- ・ 交通安全（登下校の確認・学校駐車場を含めた通学路の安全・自転車への乗り方）
- ・ 災害対応（熊の出没・高温による熱中症・風水雪害・不審者や危険人物等への緊急対応、保護者送迎との引き渡し）

4 長井市の重点を踏まえた取り組み

(1) 夢を実現する力の育成

- ① 全国学力・学習状況調査終了後の早い時期に、問題を全教員で解き分析することで「求められている資質・能力」について共有し、特に算数における授業改善を考えて、全ての学年で重点単元を設定し実践していく。
- ② 各教室の電子黒板や1人1台タブレットなどのI C T機器を効果的に活用し、子どもの主体性を大切にして確かな学力の育成につなげていく。
- ③ 総合的な学習を中心に探究型の学習形態を取り入れ、主体的に学習に取り組む姿勢を育てていく。

(2) 多様性の尊重と特別支援教育の推進

第1部【小中学校】

- ① お互いを認め合う活動や、話し合いを通して合意形成を図っていく活動を意識して行い、多様な考え方を受け止められる温かい集団づくりを進める。
- ② 複数の教職員が関わることで、多面的・多角的な視点から実態をとらえ、当該児童の声も聴きながら困り感に即した支援を行っていく。

(3) スクール・コミュニティの推進

- ① 学校運営協議会において令和7年度給特法の改正をもとにした働き方改革や、地域とともに考える学校課題を主テーマに協議し、関係団体や関係機関と連携した活動を行うことで、学校教育目標の達成を目指していく。
- ② 長井の特色やよさを子ども自身が実感できる活動を、地域学校協働活動推進員が中心となって連携して行っていく。

スクール・コミュニティ推進校 致芳小学校
令和8年度 学校経営の大綱

校 是 「 味致芳 」

明治40年（1907年）成田小学校と白兎・五十川両地区維持の開進小学校を合
わせて、一村一校の小学校を設けたとき、時の山形県知事であった馬淵鋭太郎が、
『学校の指標』として書いて与えたものである。

1 学校教育目標

「みんな仲良く高め合い、しなやかで豊かな心を持って、輝く致芳校をつくろう」

◎ めざす学校像（令和8年度のテーマ）

「一人ひとりが自分の成長を実感し、思いやりと笑顔があふれる学校へ」
～ できた！ わかった！ 楽しい！ 授業を通して ～

◎ めざす子ども像

- （1）しなやかで豊かな心と思いやりを持って関わりあう子ども （徳）
- （2）基本を身につけ、生き生きと学びあい、伝えあう子ども （知）
- （3）ねばり強くやりぬき、励ましあい、高めあう子ども （体）
- （4）ふるさとを知り、ふるさとのよさをわかりあう子ども （ふるさと）

◎ めざす教師像

- （1）子どもを真ん中において、共に歩み、寄り添い、個性を生かし、力を伸ばす教師
- （2）教育公務員としての使命感を持ち、自己研鑽に励み、学び続ける教師
- （3）子ども・保護者・地域・同僚と笑顔のあいさつで対応し、「和」を大切にする教師

2 経営の方針

- （1）学習指導要領、第7次山形県教育振興計画、第3期長井市教育振興計画を基に、校是「味致芳」を核とする本校の伝統と地域の特色を生かし、ふるさとを愛し、しなやかで豊かな心をもつ子どもを育てる。
- （2）「笑顔であいさつ」を学校・保護者・地域みんなの合言葉として仲間・地域とのつながりを大切に、温かな人間関係や安全・安心な環境づくりに努める。
- （3）スクール・コミュニティの推進校として、地域と共にある学校をめざし、学校・地域の共通理解を一層深め、協働して課題の解決にあたる。
- （4）子どもとじっくり向き合う学校づくりを進めるために、ゆとりある教育課程を編成する。
また、学校・子ども・教師のめざす姿や指導の重点に立ち返り、評価と改善を行いながら、教育目標の達成をめざす。

3 本年度の重点

- （1）自尊感情と思いやりの心の育成 ～ひびきあう仲間～（生活指導部）
 - ① 自他の「よさ」を認め合う活動を通して、自己肯定感を高め、思いやりの心を育てる。
 - ② 主体的な活動を大切にして、自ら考え、判断し、行動できる力を育成する。
 - ③ 児童理解を深め、一人ひとりに寄り添った指導・支援を進める。
- （2）一人ひとりに応じた確かな学力の育成 ～ひびきあう学び～（学習指導部）
 - ① 主体的に学び、自己の成長を実感できる授業づくりを行う。
 - ② 豊かな心を育む読育を推進するとともに、基礎基本の確実な定着を図る。
 - ③ 自分の考えを持ち、伝え、学び合う力を育成する。

第1部【小中学校】

（3）健康・体力と安全意識の育成 ～ひびきあう挑戦・意欲～（保体安全指導部）

- ① 「いのちの教育」を系統性や関連性に留意して推進する。
- ② 教科体育・パワーアップタイム等における継続した取組を通して、運動能力や体力の向上を図る。
- ③ 家庭との連携を密にして、メディアとの上手な関わり方も含めた望ましい生活リズムの定着をめざす。

（4）カリキュラムマネジメントによる学力充実と働き方改革の一体化

～ひびきあう学校・家庭・地域～（教務部）

- ① 「子どもに向き合う時間」を大事にして、ゆとりを持って子どもの心に寄り添う。
⇒ 放課後ゆったりオール5（ファイブ）＋1（ワン）
- ② 「研修の時間」を確保し、共に指導力を高め、楽しくわかる授業をつくる。
- ③ 地域学校協働推進員のコーディネートにより地域学習の充実を図る。
- ④ 明るくあいさつを核に、家庭・地域と連携・協働して安全・安心な環境をつくる。

4 長井市の重点を踏まえた取組

（1）夢を実現する力の育成

- ① 「社会に開かれた教育課程」の編成に努め、地域総ぐるみの教育をめざす。
- ② 「できた！わかった！楽しい！」が実感できる魅力ある授業づくりに努める。
- ③ 60分授業やモジュール授業など、ぐんぐんタイムの効果的活用を図る。
- ④ ICT機器を効果的に活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」を進める。
- ⑤ 地域の方々をはじめとする多様な方々との関わりや学びを通して人間力を高めるとともに、発達段階に応じて生き方や職業観に関連させたりすることを通してキャリア教育の充実を図る。

（2）多様性を尊重した特別支援教育の推進

- ① 研修やOJT等により特別支援教育力を高め、全校体制での推進を実現する。
- ② 児童理解に努め、子どもを真ん中においた指導・支援を進める。
- ③ 一人ひとりを大切にしたい思いやりのある居心地の良い学級・学校づくりに努める。

（3）スクール・コミュニティの推進

～コミュニティ・スクールの良さを生かした地域と共にある学校づくり～

- ① 地域学校協働推進員を兼ねるコミセン職員との連携・協働をもとにして、地域の諸団体等との結びつきを強め、教育活動の一層の充実をめざす。
- ② 地域の力を学校へ、子どもの元気と笑顔を地域へ。スクールパートナーの積極的な招聘と教育活動を参観する機会の拡充。
- ③ 地域のプラットフォームとなる「交流の場」（ふれあい広場）の設置。

5 特色ある教育活動 ～スクール・コミュニティの推進～

「致芳の心（和・敬・努力・郷土愛）」を育み、「地域と共にある学校」をめざして

- 「平和の鐘の鳴る村」の致芳の子どもとして、平和と共存を尊び、「長井の心」・「致芳の心」を大切にする教育の具現化を図る。
- 地域の伝統文化の継承 ～地域のお師匠様方に学びながら～
 - ・「少年少女五十川獅子踊り」の伝統と心を引き継ぐ取組の充実
 - ・地域学校協働推進員のコーディネートによる持続可能な体制作りの推進
- 地域の豊かな自然環境を生かした学び ～保護者や地域（致芳教育会）との協働～
 - ・葉山登山やふるさと学習等の充実
- コミセンや地域と連携した学習や体験活動 ～「Beyond ちほう」の継承～
 - ・地域を学ぶ、地域の人に学ぶ、共に学ぶ学習活動の推進
 - ・地域人材（スクールパートナー）による教育活動の一層の充実

令和8年度 長井市立西根小学校 学校経営大綱

1 学校教育目標

心身ともに健康で、確かな学力をもつ子供

2 求める子供像

- (1) よく考え、主体的に学ぶ子供
- (2) 自他を大切にし、思いやりのある子供
- (3) 明るく健康で、心身ともにたくましい子供
- (4) ふるさとを知り、ふるさを大切にする子供

【刻 歩 極 頂】

読み；こくほ きよくちょう

意味；一步一步の歩みを大切に頂上にたどり着く

3 求める学校像

- (1) 子供たちが明日も登校したいと思える学校
- (2) 保護者が登校させたいと思える学校
- (3) 保護者や地域とともにある学校
- (4) 教師が教育活動にやりがいを感じる学校

4 学校経営の方針

- (1) 第7次山形県教育振興計画、おきたまの教育、長井市教育振興計画、長井市学校教育の重点等を基盤に、本校の自然的・歴史的・文化的・人的環境を生かした教育を推進する。
- (2) 子供たちの安全・安心を第一に、危機管理の徹底を推進する。
- (3) 「教育の村 西根」の教育力を生かし、家庭・地域との連携・協働を一層強め、スクール・コミュニティの実現に向け、学校運営協議会と地域学校協働本部事業を核に、社会に開かれた教育課程を推進する。
- (4) 一人一人のよさを認め合い、自尊感情を高めるとともに、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進する。
- (5) 一人一人の特性や個性を尊重し、多様な個人の可能性を最大限に引き出す特別支援教育を推進する。
- (6) 教職員が学び合い、支え合い、若手職員の育成に努めながら、めりはりのある教育課程を確実に実施するとともに、学校の働き方改革をいっそう推進する。

第1部【小中学校】

5 本年度の重点

(1) [主体的に学び、表現する力を高める授業づくり]

- 重点1 一人一人が主役となり、自分事として思考し、表現する授業の実現
- 重点2 問いが生まれる課題設定、対話を生かした協働的な学び、深い学びを実感できる振り返りの過程の充実
- 重点3 一人一台端末の効果的活用・読書活動・授業と関連付けた家庭学習の充実

(2) [思いやりと自尊感情を育む関係づくり]

- 重点1 生徒指導の実践上の視点を生かした授業や、一人一人が大切にされる学級づくりを通じた自己肯定感と自己有用感の育成
- 重点2 児童理解に基づく、課題や困り感を抱える子供への組織的・機動的な支援の充実
- 重点3 あいさつ、対話、認め合う場の設定など、日常的な「心地よいコミュニケーション」を通じた温かい人間関係づくり
- 重点4 違いを認め、多様な個人の可能性を最大限に引き出す特別支援教育の推進

(3) [健康でたくましい心と体づくり]

- 重点1 地域の実状を踏まえた、より現実的で実効性の高い、安全・防災教育の実施と危機対応能力の育成
- 重点2 子供の実態や課題を捉え、体力・運動能力の向上につながる教科体育の充実
- 重点3 ねらい・方法・時期や期間を明確にした、心身の健康づくり、いのちの学習、食育の充実

(4) [ふるさと西根を愛する心づくり]

- 重点1 地域の教育力と魅力ある地域の宝（人材・学習材等々）を最大限生かした、発見・体験・探究・発信・感謝のある学習活動の創造と教育課程の編成

授業を学校経営の中核に

○ 学校研究の日常化

研究主題：主体的に学ぶ子供の育成

○ 生徒指導の実践上の視点を生かした授業

視点：①自己存在感 ②共感的な人間関係 ③自己決定の場 ④安全・安心な風土

6 長井市の重点を踏まえた取組

(1) 夢を実現する力の育成

- ① 学校研究を核として、主体的に学ぶ子供の育成を目指した授業改善
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 I C T機器の効果的活用と実践力の向上
- ③ 算数ステップテスト、ぐんぐんタイム等、学びの基本を大切にした取組
- ④ 本物に触れる多様な体験活動を大切にした教育課程の編成
- ⑤ 総合的な学習の時間における「探究的な学び」の実現とカリキュラムの充実

(2) 多様性を尊重した特別支援教育の推進

- ① 特別支援教育の校内研修を通じた、教職員の専門性の向上
- ② 「西根小学校いじめ防止基本方針」を基底にすえ、関係機関と連携した、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、組織的対応
- ③ 週1回の児童理解の場による、教職員間の情報交換と共通理解、早期対応
- ④ 欠席した子供や心配な子供への適切な対応、電話・家庭訪問・保護者との面談の実施
- ⑤ 「教育相談」「いじめアンケート」「ハイパーQ—U」「児童理解（子供を語る会）」を関連付けた計画的な実施
- ⑥ 様々な困り感をもつ子供への、ケース会議等による組織的対応と継続的な支援

(3) スクール・コミュニティの推進

- ① 学校運営協議会と地域学校連携事業の推進
- ② 地域と願いを共有するための社会に開かれた教育課程と開かれた学校づくりの推進
- ③ 西根地区の伝統文化や西根小学校の歴史と文化の継承を大切にした教育課程編成
- ④ 道徳教育との関連を図り、地域の方との交流による郷土愛や思いやりの心の育成
- ⑤ 児童数減少に伴う学校運営について、P T A・学校運営協議会との共有と持続可能な諸活動のあり方の継続的な協議

7 特色ある教育活動の展開 <長井の心を育む学校>

(1) 全校葉山登山

60年を超す伝統ある行事を継承する。5・6年生は草岡コースから山頂の葉山神社、可能ならば奥の院へ、3年生は展望台付近まで、4年生は草岡コースとの分岐付近まで、1・2年生は縄文村から大石沢を目標に、西根小学校ならではの教育活動を行う。

(2) 地域が興した伝統文化の継承

第 1 部【小中学校】

地域有志が生み出した「縄文太鼓」を 4 年生が継承していく。校舎内にある地域体験教室を生かし、ここ西根の丘に暮らしていた縄文人への思いを太鼓の調べで表現するという、西根小学校ならではの教育活動を行う。また、3 年生の「大明神桜」「昔語り」等に関する地域学習についても、児童からの発信・参画を大切にする。

(3) けん玉日本一

西根地区には、競技用けん玉生産日本一の会社があり、生活科で工場見学をするなど、つながりも深い。また、けん玉は、体力や年齢に関係なく楽しめるスポーツであり、集中力を養うことができる。「けん玉認定会」等を通して全校生で競技けん玉に取り組むといった西根小学校ならではの教育活動を行う。

令和8年度 長井市立平野小学校 学校経営計画

I 学校教育目標

かしこく やさしく たくましく 地域を愛する 平野っ子

(1) めざす子ども像

- ①学び続けるかしこい子ども
- ②豊かにかかわるやさしい子ども
- ③未来を創るたくましい子ども
- ④地域に誇りをもつ子ども

(2) めざす学校像

- ①子どもたちが笑顔で登校し笑顔で下校する学校
- ②子どもたちの可能性を最大限に伸ばす学校
- ③それぞれの違いを認め合い、尊重し、共に伸びる実感を持たせる学校
- ④保護者・地域の願いをかなえる学校

(3) めざす教師像

- ①信頼される教師
- ②自己研鑽に励む教師
- ③授業に全身全霊を傾ける教師
- ④時代の変化に対応できる教師

2 経営の方針

- (1) 教育法令、第7次山形県教育振興計画、長井市教育振興計画等を踏まえ、地域や学校の実態と課題を明確にして教育にあたる。
- (2) 授業を学校経営の中核と捉え、主体的に学ぶ態度を育成し、確かな学力の育成を図る。
- (3) 多様性の尊重と特別支援教育の充実を図り、個々のニーズに応じて一人一人を大切にした教育を推進する。
- (4) 子ども一人一人が「かけがえのない存在」であるという考え方のもと、個々のよさや努力を認め、励まし、自信を育み、自尊感情を高める。
- (5) 他者の存在を意識し、人に役立つことや人とつながることの楽しさ、喜びを味わうことで、自他共に尊重し、豊かな人間関係づくりを進める。
- (6) 教育活動の基盤となる学級経営の充実のため、教師が常に子どもに寄り添い、見守りながら、「温かさ」と「厳しさ」のある指導を行う。
- (7) 将来に夢や希望を持ち、実現に向け粘り強く挑戦する子どもを育てる。
- (8) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）と地域学校協働活動を核にして、地域と連携・協働し、地域の特性を活かした特色ある学校づくりを進める。
- (9) 安全・安心に基づいた地域とともにある学校づくりを進める。
- (10) 全職員が教育公務員としての自覚と誇りを持ち、自らの健康維持増進のため「ワークライフバランス」に留意しながら、学校教育目標の達成と課題解決のために参画意識を高め、信頼される学校づく

第1部【小中学校】

りを進める。

3 重点と具体策

＜重点1 かしこい子ども＞ 確かな学力と探究する力

- (1) 学校研究や校内研修などを通して教師の指導力の向上に努め、児童の学習意欲の向上と基礎・基本の定着を図る。
- (2) 「目指す学びの姿」を全教職員と共有し、各学年の段階に応じた授業づくりと家庭学習の充実に努める。
- (3) ICT機器の効果的な活用を図り、個別・最適な学習を実現する。
- (4) 読書指導の充実に努め、読書の楽しさを味わわせ、児童の読解力と自ら進んで読書をしたり、調べたりする力を育てる。
- (5) 特別支援教育の視点にたち、個性や発達に応じた学びを保障する。

＜重点2 やさしい子ども＞ 思いやりと自他を大切にする心、自ら考えて行動する力

- (1) 生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を踏まえた授業・学級経営・特別活動をすすめる。教師も児童も互いの人権を尊重し合い、安心して生活できる居場所のある学校・学級を創る。
- (2) 児童理解に基づいた発達支持的生徒指導を心がけ、信頼関係を築き、いじめ・不登校の未然防止に努める。
- (3) 教師の見届けと賞賛、お互いを認め合う場の設定により一人一人を大切にしたい指導を行い、児童の自尊感情を高めるとともに、自他を大切にする心を育て、人権意識の醸成を図る。
- (4) ルールややるべきことを自ら考え適切な言動を判断し、課題解決に向けた行動をとることができる力を育てる。
- (5) 特別活動の中核に、将来の自分たちの生活や社会と関連付けながら見通しを持ったり、振り返ったりするキャリア教育の充実に努める。

＜重点3 たくましい子ども＞ たくましい心と体、挑戦し続ける強い心

- (1) めあてをもって運動に取り組ませ、運動能力や体力の向上を図る。
- (2) 「早ね・早起き・朝ごはん」運動による生活リズムの確立を、家庭と連携して行う。
- (3) 自分で限界を決めず、いろいろなことに粘り強く取り組ませ、児童に達成感と満足感を味わわせる指導を行う。
- (4) 事故やケガの防止、感染症等の予防に努め、緊急時に的確な対応をして、児童の安全安心を確保し、保護者の信頼を裏切らないように努める。
- (5) 児童への情報発信を適切に行うことで、自分の健康や衛生に対する意識を高めさせ、自他のいのちを大切にする指導を、時機を逃さずに行う。

＜重点4 地域に誇りを持つ子ども＞ 地域に学び、地域の一員として関わる力

- (1) 学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進するとともに、目指す子どもの姿を共有し、地域に開かれた教育課程を具現化させる。
- (2) 生活科・総合的な学習で地域に根ざした探究的な学びを推進するとともに、児童が地域に興味関心を持ち、学んだことを表現・発信することができるようにする。

- (3) 地域の人材や教材を積極的に活用するとともに、人々との触れ合いを通して、生き方を学んだりより良く生きるために考えたりしながら、地域の一員として自覚を持つことができる学習を展開する。
- (4) 緑の少年団等に参加し、自分たちの学校を別の視点から見つめ直し、本校のよさや平野地区のよさを実感できるようにする。

4 長井市の重点を踏まえた取り組み

(1) 夢を実現する力の育成

- ① 確かな学力を身に付ける子どもの育成を目指し、授業改善に努める。
- ② ICT機器の効果的な活用を図り、個別・最適な学習を実現する。
- ③ いろいろなことに粘り強く取り組み、達成感と満足感を味わわせる指導を行う。
- ④ 将来の自分たちの生活や社会と関連付けながら見通しを持ったり、振り返ったりするキャリア教育の充実を図る。

(2) 多様性の尊重と特別支援教育の推進

- ① 「誰一人取り残さない」授業づくりを工夫する。
- ② 絆づくりの基盤となる、温かい集団づくりを行う。
- ③ 自尊感情を高める教師の見届け、励まし、認め合う活動を工夫する。
- ④ 一人ひとりの能力・特性等を十分理解した支援計画や指導計画の作成と、計画的・継続的な支援体制を整備する。
- ⑤ 学校、保護者、外部機関との連携・協力を進める。

(3) スクール・コミュニティの推進

- ① 学校運営協議会では、学校評価等をもとに学校・家庭・地域が課題を共有し、課題解決に向けて関係団体や関係機関と連携・協働しながら、学校教育目標の達成を目指していく。
- ② 地域学校協働活動、学校支援ボランティアとの連携・協力のもと、地域人材の活用（平小獅子踊り、体験学習、学校行事、環境整備、読み聞かせ等）や物的資源の活用を図り、学校と家庭・地域が連携・協働した学校づくりを進めていく。

第1部【小中学校】

令和8年度 長井市立豊田小学校 教育計画

1 学校教育目標

【知】 よく学び 力を高めていく子ども
【徳】 心やさしく ひとのために役立つ子ども
【体】 すこやかで 力いっぱい活動する子ども

2 令和8年度学校スローガン

『共育・協創』

共：学校・家庭・地域ともに手を携えながら、子どもを育て、子どもと共に育つ

協：多様性を尊重しながら、心と力を合わせ豊田小学校をつくりあげていく

3 経営方針

近年、技術の進化や社会の変化がますます加速し、日常生活にもAIに代表される科学技術が浸透してきている。このような技術の進歩は、人類の可能性を広げる有効なツールである。一方で、人の強みとは何かを改めて考えるきっかけを投げかけられているようにも受け止められる。情報があふれる現代だからこそ、何が正しいのか、何を選択するのか自分で判断する力が必要である。こういった「自分で考え、判断する」力を身に付け、社会の変化を受け入れながら、たくましく自分の人生を切り拓いていけるような子どもを育てていくことが学校教育の使命であると考えます。

自分のよさや強みを知り最大限に発揮できる環境を整え、お互いを尊重し共に成長できる協働を経験しながら、人生を自分らしく生きていけるような礎を育むために、「一人一人のよさや可能性を引き出し伸ばす教育課程の実現」を目指し、その中核に授業を据え教育活動を展開していく。

「子どものよさや可能性を引き出し、伸ばす教育課程」の実現を目指す

(1) 多様な価値観を尊重する。

- ①子どもの自己決定を支える教師のかかわり
- ②多面的な子ども理解をもとに、子どもの成長や発達を促す教師のかかわり
- ③互いのよさや違いを認め合える雰囲気醸成
- ④米沢養護学校長井校との交流

(2) 安心・安全な環境をつくる。

- ①いじめ・不登校の未然防止及び早期発見
- ②安全に学ぶことができる校舎内外の環境整備
- ③教職員の高い危機管理意識＜凡事徹底、率先垂範、卒啄同時＞

4 目指す子ども像

課題を自分たちで解決する意欲と力を身に付けた子ども

- ① 課題解決に必要な学力を身に付け、試行錯誤する子ども（よく学び 力を高めていく子ども）
- ② 自分や友達のよさがわかり、尊重できる子ども（心やさしく 人のために役立つ子ども）
- ③ 心身ともに健康で、挑戦し続ける子ども（すこやかで 力いっぱい活動する子ども）

- ④ 地域（豊田地区）を愛する子ども

5 目指す学校像

学校・家庭・地域が思いを共有し、子どもの成長を支えることができる学校

- ① 子どもが安心して通い、学び、仲間と時間と思いを共有できる学校
- ② 地域の方々が誇れる集える学校
- ③ 教職員のよさが発揮できる学校

6 目指す教職員像

子どものよさや可能性を見つけ、引き出し、伸ばす教師

- ① 子どもの思いを支える教師
- ② 矜持と覚悟を持って学び続ける教師
- ③ 協働して課題に向かう教職員集団
- ④ 働きがいを実感できる職場環境の整備

7 重点と具体策

令和8年度 長井市学校教育の重点

【1】夢を実現する力の育成 【2】特別支援教育の推進 【3】スクールコミュニティの推進

（1）自分で考え、表現する【1】

- ① 子どもの「わかった」「できた」を実感できる授業による子どもの学力の保障（自己決定する場と時間の確保、教科担任制の導入による教員の専門性向上、デジタル活用による習得と探究）
- ② 子どもが試行錯誤できる場の設定とそれを許容する教師の指導姿勢
- ③ 学校研究を中核にした共通実践、研究の日常化による授業改善、授業の充実
- ④ 各教科等における「言葉で表現する場」の設定（読書の奨励、言語環境の整備）

（2）自分も他者も大事にする【1】【2】

- ① 自分のよさや気持ちを考える場の設定（授業、学級内の役割、学校行事等）
- ② お互いのよさに気づききっかけづくりと伝えあう活動の設定（特別活動等）
- ③ 多面的な子ども理解をもとにした子ども一人一人の成長やよさの評価（天性重視の視点、挑戦への意欲付け）
- ④ 多様性の受容（お互いの違いを認め受け止める）を実現する対話と交流（授業、行事、生活全般、保護者対応、米沢養護学校長井校との交流・協働）

（3）心身ともに健康なからだをつくる【1】

- ① 「できる・のびる」教科体育の展開（年間指導計画と行事との関連、取組みの可視化）
- ② 生活リズムの確立と自己管理能力（気持ちよく生活するための知識と行動力）の育成（保健指導、情報モラルを育む研修会の実施）
- ③ 危機管理意識を育てる安全・防災教育の推進（交通安全教室、避難訓練、教科学習等）

（4）地域を知り、地域に学ぶ【3】

- ① 学校運営協議会での学校課題の共有と改善に向けた熟議
- ② 6年間で地域への参画意識を育てるカリキュラムの整備（生活科・総合的な学習の時間）
- ③ 家庭、地域と連携した多様な学びの機会の保障（地域学校協働活動）



令和8年度 長井市立伊佐沢小学校 学校経営

1 学校教育目標 ふるさとを愛し、心豊かでたくましい伊佐沢っ子

【合言葉】～あいさつ いのち うんどう えいご おもいやり～

◇ めざす子ども像

- (1) 自分の「好き」を大切にする子ども
- (2) 主体的に学習に取り組み、仲間と学び合い、確かな学力を身につける子ども
- (3) 粘り強く挑戦し、励まし合い、仲間と共に心身を育む子ども
- (4) 地域のことをよく知り、地域を大切にする子ども

◇ めざす学校像

- (1) ときどき感、わくわく感があり、楽しさや嬉しさを実感できる学校
- (2) 失敗を恐れず様々なことに挑戦でき、お互いを応援し合える学校
- (3) 地域とともにある学校～子どもと地域のウェルビーイングをめざす～

◇ めざす教師像

- (1) 子どもの「好き」を大切にし、子どもの個性や能力を引き出し伸ばせる教師
- (2) 自身の「好き」をきっかけに、自己研鑽に励みながら専門性と指導力を高める教師
- (3) 家庭・地域と連携し、組織の一員として協働して学校づくりに努める教師

2 学校経営の方針

- (1) 学習指導要領の理念および山形県・長井市の教育振興計画を踏まえ、本校の伝統と地域文化を基盤に、「知・徳・体」の調和とウェルビーイングの実現を図る。
- (2) 少人数・複式学級指導における長井市の先進校であるという自覚のもとに、学校研究と個別最適な学び・協働的な学びの充実と授業改善を推進する。
- (3) 特別支援教育の視点を学校全体の基盤として、多様性を尊重し、児童一人一人が自分の「好き」を大切にしながら、仲間とともに課題を解決できるインクルーシブな学級・学校づくりを進める。
- (4) 挑戦を価値とする学校文化を醸成し、失敗から学ぶ姿勢を育み、困難に向き合う粘り強さと他者を温かな心で支え合う力を育成する。
- (5) 安全・安心を最優先とし、危機管理意識を職員・児童・保護者・地域で共有し、心身ともに健康で豊かに学べる学校環境の充実を図る。
- (6) スクール・コミュニティを軸に「地域とともにある学校」を進め、学校・家庭・地域が課題や願いを共有し、協働により子どもたちの学びと成長を支える体制を強化する。
- (7) 教職員が組織の一員としての使命感をもち、向学心と専門性を高め、チームとして学校経営に参画する体制を確立する。

3 本年度の重点及び主な方策

(1) 確かな学力の育成（知）

① 学校研究を核とした主体的に楽しく学ぶ児童の育成を目指した授業改善

- ・ 少人数・複式の強みを生かし、一人一人の考えを確実に引き出す指導の工夫
- ・ 学び合いの質を高める対話的な活動や思考ツールの活用
- ・ 学習規律と学習のめあて・見通し・振り返りを大切にした授業構成

② ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学習の充実

- ・ タブレットを用いた学習履歴の活用による理解の可視化
- ・ オンライン交流や遠隔協働学習による学びの広がり
- ・ 生成AI等の今日的ツールを適切に活用した調べ学習・探究活動

③ 充実した英語教育をととしたコミュニケーション能力の育成

- ・ モジュール学習の継続とALTや地域ボランティアとの協働授業の充実
- ・ 表現活動の場面設定の工夫

④ 教科横断的な視点によるカリキュラム・マネジメントの推進

- ・ 複式・合同学習・異学年交流を効果的に組み込んだ年間計画
- ・ 地域教材・地域人材を生かした探究的な学びの実施

⑤ 自分の「好き」をきっかけにした総合的な学習の時間

- ・ 自分の「好き」を探究する全校総合「やってみよう」の設定とキャリア意識の醸成
- ・ 互いの「好き」を尊重する人間関係の構築による安心できる学習環境づくり

(2) 生徒指導・特別支援教育の充実（徳）

① 豊かな人間関係の基盤づくり

- ・ 相手を意識した明るくあいさつと丁寧な対話
- ・ 互いの良さを認め合う活動の計画的な実施
- ・ 子どもの「好き」や「自己有用感」に基づいた「自己肯定感」を高める指導

② いじめ・不登校等の課題への組織的対応の強化

- ・ 「生徒指導のさしすせそ」を軸にした校内委員会の機能向上
- ・ 早期発見・早期対応と関係機関との連携強化
- ・ チームとしての記録共有・支援の一貫性

③ 縦割り・異学年交流を通じた育ち合いの推進

- ・ 一人一人が役割をもち、互いを思いやる集団づくり
- ・ 児童一人一人が安心して参加できる活動設計
- ・ 行事の工夫による「協働」経験の確保

④ インクルーシブ教育の推進

- ・ 子どもの「好き」を大切にした個別の教育支援計画の作成・活用
- ・ 特別支援教育コーディネーターの中心的役割の明確化
- ・ 先進校視察等の研修機会の確保
- ・ 支援員・地域人材との連携体制の整備

(3) 心身の健康（体）

① 体力向上に向けた運動習慣の定着

第1部【小中学校】

- ・楽しさを大切にした朝のスポーツタイム
- ・体づくり運動の継続的な取組
- ・個別目標の設定と達成感を高める指導

② 生活習慣の改善と家庭との連携

- ・メディアコントロールデイの定着と家庭への啓発
- ・学校保健委員会の更なる充実
- ・食育指導の充実と健康意識の育成
- ・心の健康（メンタルヘルス）に関わる指導の強化

③ 安全教育・防災教育の充実

- ・危機管理マニュアルの見直しと訓練の質向上
- ・避難所運営体験等の地域と連携した防災学習
- ・安心して過ごせる学校環境の維持・改善

（４）特色ある教育活動の展開（地域とともにある学校）

① 地域学校協働活動の深化

- ・伊佐沢少年少女念佛踊り、合同運動会、読み聞かせ、授業支援、環境整備等での地域人材の参画拡大
- ・地域の文化・自然・歴史を生かした学びと地域貢献活動の推進
（さくらっ子ガイド、定植・収穫作業、葡萄園・フルーツ園見学、新入生植樹等）

② 学校運営協議会との協働による学校づくり

- ・課題の共有と改善策の協議、教育活動と環境整備のPDCAを強化
- ・学校の方向性と成果を地域とともに確認する体制の確立

③ 地域に開かれた学校づくりの推進

- ・「学校サロン さくらっこカフェ」の開放
- ・12月の自由参観日における祖父母参観・地域参観日の継続
- ・コミュニティセンター行事との連携強化とボランティアの人材発掘

4 長井市の重点を踏まえた取組み

（１）子どもたちの「学びの質」を高める～ICTの効果的な活用

① 学校研究を核とした授業改善の推進

- ・ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり
- ・外国語活動における、楽しさの中でのコミュニケーション能力の育成
- ・伊佐沢小学校共通実践項目の実践
- ・学力充実期の設定と、全校漢字・計算テストによる基礎学力の定着

② ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学習の推進

- ・タブレット活用、思考の可視化・意見交流・振り返りの充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・小小連携・小中連携を意識した遠隔交流学习やオンライン共同学習の推進

③ プログラミング学習の充実

- ・学年に応じた計画的なプログラミング教育による論理的思考力と創造性の育成

（2）子どもたちを「つなぐ」～アセスメントに基づく特別支援教育の推進

① 特別支援教育の充実と校内支援体制の強化

- ・特別支援学級・複式学級における適応支援の継続と、教員同士の連携した支援
- ・特別支援委員会等の活用と、子どもの困り感に寄り添った支援体制の整備

② いじめ・不登校等への組織的対応の徹底

- ・「伊佐沢小学校いじめ防止基本方針」に基づいた、組織的な未然防止・早期発見・早期対応
- ・関係機関との連携強化、子どもの「好き」を大切にした支援

③ 児童理解に基づく継続的な支援の推進

- ・HP-QU・いじめアンケート・教育相談の結果を関連付けた分析と活用
- ・週1回の児童理解の場を設けることによる情報共有と早期対応の徹底

（3）子どもたちに対する教育活動の充実～働き方改革と研修の推進

① 教職員研修の充実と専門性の向上

- ・長井市学校教育研修所研修部主催の各種研修会への積極的参加による教科の本質理解と指導力向上
- ・若手教員・中堅教員への支援体制を強化と学校全体で学び合う文化の醸成

② 校務の効率化による働き方改革の推進

- ・校務支援システムの活用による業務の効率化
- ・職員が「働きやすさ」と「働きがい」を感じる職場環境の実現
- ・時間外在校等時間の縮減

③ 校内研修による担任力の向上

- ・授業力・生徒指導力・特別支援の視点での校内研修の実施による担任力の向上
- ・互いの授業参観・授業研究を通じた職員間の協働的学びの深化

第1部【小中学校】

令和8年度 長井市立長井南中学校 教育計画基本方針

1 長井の心 『 平和を愛し、共存を尊ぶ心 』

2 学校教育目標 光る知性 豊かな心 強い意志

3 めざす生徒の姿

- (1) 自ら学び、思考、判断、表現する、コミュニケーション力の高い生徒 (光る知性)
- (2) 多様な価値観を尊重する、思いやりある生徒 (豊かな心)
- (3) いのちを大切に、しなやかな心でチャレンジする生徒 (強い意志)

4 めざす学校の姿

- (1) よさが発揮され、夢実現に邁進する学校 (光る知性)
- (2) ふるさとを愛し、「長井の心」が育つ学校 (豊かな心)
- (3) 心が通いあい、信頼の絆で結ばれる学校 (強い意志)

5 めざす教師の姿

- (1) 豊かな人間性に満ち、生きる力を伸ばす教師 (光る知性)
- (2) 担任力を備え、生徒と心通わせる教師 (豊かな心)
- (3) 師表としての自覚が高く、自己研鑽に励む教師 (強い意志)

6 学校経営の方針

第7次山形県教育振興計画(令和7年度～)、第3期長井市教育振興計画(令和6年度～令和10年度)の理念と目標を踏まえた教育を具現化する。

(1) 信頼される学校をめざす (光る知性)

- ① 生徒の学びを真ん中に置き、全ての生徒の可能性を引き出し、知を育てる。
- ② ウェルビーイングを目指し、学校家庭地域と共に子どもを育てる協働の学校をつくる。

(2) 多様性を尊重し、地域の特色を生かした教育を推進する (豊かな心)

- ① 自他を尊重し、高め合い、思いやりと自己有用感を育む。
- ② 体験的取り組みから、持続可能な社会の実現を担う子どもを育てる。

(3) 生徒指導の視点を活かす教育活動を推進する (強い意志)

- ① 自己存在感・共感的な人間関係・自己決定・安全、安心な風土の醸成を実感させる。
- ② 組織として機能する体制で、子どものチャレンジを支える。

7 重点と具体策

- (1) 重点Ⅰ 個別最適な学びと協働的な学びの融合化を図り、確かな学力を育む(光る知性)

<具体策>

- ① 「特別支援教育の視点」と「生徒指導の視点」を授業の基盤に置く。
- ② 一人一人の特性や教育的ニーズに寄り添い、アセスメントに基づいた指導と支援を行う。
- ③ 基礎基本の定着と個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業改善を行う。
- ④ 一人一人の状況に応じた ICT の効果的な活用を推進する。
- ⑤ 学びを繋ぐ家庭学習の充実と学習習慣の確立を図る。

(2) 重点2 多様な価値観を尊重し、自己有用感とコミュニケーション能力を育む（豊かな心）

<具体策>

- ① 南中 PRIDE「み・そ・あ・じ・う・ま・い・よ・ネ!」を土台にし、自己有用感を育む教育活動や生徒会活動・地域活動をととして、豊かなコミュニケーション力を育む。
- ② チャレンジする気持ちを引き出す言葉がけと具体的な指導をととして、自信と成長を感じさせる。
- ④ 共感と洞察力のある生徒理解や教育相談を充実させ、生徒や保護者に寄り添った支援を行う。
- ⑤ いじめの未然防止に向けた積極的な生徒指導といじめを許さない環境づくりを推進する。

(3) 重点3 いのちの教育の充実を図る（強い意志）

<具体策>

- ① 「自立と共生の時間」をととして、自他のいのちを大切にする心を養う。
- ② 家庭や PTA、外部機関と連携し、生活リズムの確立やネットリテラシーを育む。
- ③ 不登校・不適応の未然防止に向け、生徒の変化を素早く察知し、悩みに寄り添うとともに、困難に負けないたくましさを育成する。
- ④ 安全に関する教育活動を充実させ、自分のいのちは自分で守る意識の醸成を図る。

8 長井の重点を踏まえた取り組み

(1) 夢を実現する力の育成

- ① 学校研究を中核にし、基礎基本の定着を図りながら、生徒の問いを引き出し、主体的に課題解決をめざす授業づくりを推進する。
- ② ICT 機器を効果的に活用し、一人一人の特性やニーズに応じた授業改善と学力向上に取り組む。
- ③ 特別支援教育の視点から、生徒の立場・思考に寄り添った授業づくりを推進する。
- ④ 総合的な学習の時間で、ふるさと長井と大田区とのつながりを活かしながら、自分の生き方やできることを考え行動する力を育てる。

(2) 多様性の尊重と特別支援教育の推進

- ① 生徒指導の視点を全ての教育活動の根底に据え、心通い合う教育を推進し、自己有用感を育む。
- ② 豊かな言葉を身につけさせ、論理的に表現する力を育てる。
- ③ 米沢養護学校西置賜校との繋がりを深め、多様性を認め合う心を育てる。

(3) スクール・コミュニティの推進

- ① 学校運営協議会を手がかりに、学校課題を保護者・地域に開き、熟議をととして学校と地域が元気になれるようにする。

1 学校教育目標

『 たくましいからだとたくましい心で 常に伸び行く北中生 』

- 1 心身を鍛え、明るく強く生き抜く生徒
- 2 知性を磨き、ねばり強く目標実現に努力する生徒
- 3 思いやりの心を開き、互いに助け合って成長していく生徒
- 4 自分を律し、全体に貢献する生徒

2 目指す生徒像

「澁刺と生き方を希求し、幸せの未来を開く生徒」

○認め・支え・磨き合う ○挑戦する ○ふるさとを愛し・貢献する

3 目指す学校像

○居心地がいい ○やり直しができる ○自己実現ができる

4 目指す教師像

- 情熱にあふれ、規範と魅力を有する教師
- 向学心に富み、確かな指導力を持った教師
- 共に居て、信頼され、人間力に満ちた教師

5 今年度の「学校スローガン」

たくましく しなやかに 未来に向かって 高め合おう

6 経営の方針

- (1)第7次山形県教育振興計画（令和7年度～）や第3期長井市教育振興計画（令和6年度～令和10年度）の理念と目標を踏まえた教育を具現化する。
- (2)職場は運命共同体であり、組織体であることを自覚し、学校教育目標を毎日の教育活動の中で具現化する。
- (3)生徒の姿と事実を基軸とし、自己評価と働き方改革を両輪としながら、「誰一人取り残さない」教育の実現を進める。
- (4)学校研究を中核に、学年や教科を超えて、日常的に教材研究や実践について語り合うとともに、生徒の学びを真ん中に据え、教科の本質に迫る授業を展開する。
- (5)多様性と包摂性の理念を根底に、自他を尊重する心や自己有用感、志を持った生徒の育成を目指し、全教育活動において人権教育を推進し、いじめや不登校の未然防止と適切な対応を進める。
- (6)安全・安心な教育環境の整備に向け、保護者や地域と課題を共有し、地域とともに生徒たちを育み、社会に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

7 経営の重点と目標

- (1)一人一人に確かな学力を育成するために、目標－指導－評価が一体化した授業づくりと特別支援教育の視点を生かした授業づくりを推進する。

- ①基礎・基本を習得し、それを使って活用・探究し教科の本質に迫る生徒を育てる。
- ②協働的な学びに意欲的に取り組み、考えを広めたり、深めたりする生徒を育てる。
- ③個に応じた指導を充実することで、学びを実感し、自ら学ぼうとする生徒を育てる。
- (2)自分で考え行動を起こすために、自己有用感と豊かな心を育成する。
 - ①生徒自身が悩みや困難と向き合い、自分で解決しようとする生徒を育てる。
 - ②自他を尊重する心を持ち、他を本気で応援できる生徒を育てる。
 - ③自分の役割を自覚し、責任を持って活動ができる生徒を育てる。
- (3)明るく生活するために、健康でたくましいからだを育成する。
 - ①心と身体に関心を持ち、「いのち」を大切にする生徒を育てる。
 - ②心身の健康保持や体力の増進に関心を持ち自己管理能力を高めようとする生徒を育てる。
 - ③望ましい生活習慣（生活リズム、メディアコントロール、食習慣、運動習慣、環境美化）を身に付けようとする生徒を育てる。
- (4)地域愛を育むために、地域活動に積極的に参加する生徒を育成する。
 - ①温かい心で生活し、仲間とともに磨き合う生徒を育てる。
 - ②地域活動に貢献し、社会参加に意欲のある生徒を育てる。
 - ③自ら進んでボランティア活動を企画・参加しようとする生徒を育てる。

8 長井市の重点を踏まえた取り組み

- (1)夢を実現する力の育成
 - ①授業時数の標準化に対応し、教科におけるカリキュラム・マネジメント力を高めるとともに、総合学力調査の活用を進め、一人一人に確かな学力を付ける。
 - ②週3日を5時間授業として、教材研究等授業充実の時間を確保する。
 - ③学校行事等における準備期間や実施内容を精査する。
 - ④基礎テストを実施し、一人一人に「できた」「わかった」を実感させる。
- (2)多様性の尊重と特別支援教育の推進
 - ①3年間を通して、様々な教育相談活動（ガイダンス・カウンセリング、日常の支援的関わり）を徹底して進め、長所を発見、伸長させながら自尊心を育む。
 - ②巡回相談、HP-QUテスト、SGE等の活用と支持的風土をつくる。
 - ③一人一人の教育的ニーズに寄り添い、その生徒にとって適切な学びの場と方法を構築し、「一人一人を取り残さない」授業づくりと評価を実施する。
- (3)スクール・コミュニティの推進
 - ①学校運営協議会を手がかりに、学校関係者評価を経営や教育指導の改善、教育課程の改善、教育環境整備の改善を進める。
 - ②地域貢献について、地域における自主活動を生徒の実態に応じて進める。
 - ③日曜日は「生徒が家庭・地域で活躍する日」と設定し、行事等は組まないこととする。
- (4)キャリア教育の推進
 - ①体系的・系統的なキャリア教育を教育課程に位置付け、一人一人が澁刺と自分らしい生き方を追求し、実現していけるようにする。また、総合的な学習の時間との関連を図り、探究的な学びとなるようにする。
- (5)その他
 - ①部活動の任意加入制3年目並びに土日の部活動の地域展開初年度（令和8年度後期～）にあたり、関係機関との連携強化と適切な情報提供を図り、一人一人が興味・関心に応じた選択をし、自分の成長に繋がる過ごし方ができるよう支援する。

第 1 部【小中学校】

【資料】教職員・児童生徒数及び学級数

(令和 8 年 5 月 1 日現在)

(1) 教職員数

	本 務 者				職 員	
	校長	教頭	教諭	養護 教・助教	事務	市職
長 井 小	1	1	30	1	2	2
致 芳 小	1	1	9	1	1	1
西 根 小	1	1	10	1	1	2
平 野 小	1	1	9	1	1	1
豊 田 小	1	1	9	1	1	1
伊佐沢小	1	1	5	1	1	1
長井南中	1	1	25	1	1	2
長井北中	1	1	18	1	1	2

(2) 児童生徒数

	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		合計		
	児童 数	学級 数	児童 数	学級 数	児童 数	学級 数	児童 数	学級 数	児童 数	学級 数	児童 数	学級 数	児童 数	普通 学級	特支 学級
長 井 小	74	3	99	3	85	3	84	3	85	3	91	3	518	18	5
致 芳 小	21	1	10	1	22	1	14	1	21	1	22	1	110	6	2
西 根 小	15	1	15	1	13	1	14	1	15	1	19	1	91	6	3
平 野 小	17	1	20	1	24	1	21	1	17	1	18	1	117	6	2
豊 田 小	22	1	21	1	25	1	28	1	22	1	30	1	148	6	2
伊佐沢小	6	1	6	0	6	1	5	0	8	1	7	1	38	4	1
合 計	155	8	171	7	175	8	166	7	168	8	187	8	1,022	46	15
	生徒 数	学級 数	生徒 数	学級 数	生徒 数	学級 数							生徒 数	普通 学級	特支 学級
長井南中	117	4	102	4	128	4							347	12	2
長井北中	72	3	87	3	80	3							239	9	2
合 計	189	7	189	7	208	7							586	21	4

令和8年度 長井市給食共同調理場運営計画

■調理場の概要

旧長井市学校給食共同調理場（所在地：清水町2丁目2-22）は、昭和42年に建設され築50年が経過し、施設・設備の老朽化が著しく、新たな調理場の整備が迫られていました。長井市では、未来を担う子どもたちへ安心・安全でおいしい給食の提供を目指し、平成30年3月に、長井市学校給食共同調理場整備基本構想・基本計画を策定、新たな調理場は移転した上で新築（移転先：寺泉2998-2）とすることを決定しました。調理場の建設・運営・維持管理等については、民間の活力を生かし、効率的かつ効果的な公共サービスを提供できるPFI方式を導入し、令和3年3月竣工、同年4月8日から給食提供を開始しました。

新調理場では、学校給食に加え、新たに幼児給食も提供し、名称を「長井市学校給食共同調理場」から『長井市給食共同調理場』に改めました。国の学校給食衛生管理基準に沿ったドライシステムを導入、汚染作業区域と非汚染作業区域を明確に区分し、食材の受け渡しはパススルー方式で行うなど衛生管理が徹底されています。また、新たに炊飯施設とアレルギー対応室を設けました。

給食は、子どもたちがきちんと栄養をとるためのものであることに加えて、よりよい食習慣をつくり、地域の食文化や食に関わる産業等、子どもの食に関する興味や関心を高め、楽しく食事をすることで交流を深める大切な学習の場になっています。そのため、長井市給食共同調理場は、安心・安全でおいしい、栄養バランスのとれた給食を作るとともに、『食に関わる学びの場』として造られており、調理作業の見学スペースや、試食もできる会議室を設けるなど、食育を複合的に体験できる環境に整えました。

■新調理場における業務計画

1. 学校給食と幼児給食の独立（エリアと献立の独立）

学校給食と幼児給食とでは発達段階や食事摂取基準等が異なることから、子どもの成長に合わせた給食にするため別献立とし、下処理から調理に至るまで、それぞれ専用の調理室を設けて行います。

2. 衛生管理の徹底化

◆HACCP（ハサップ）の概念を基本とするドライシステム

各作業工程の全般を通じて食品の安全確保を図るいわゆるHACCPの概念を基本としたドライ方式で運営します。

*HACCPとは…食材の受け取りから調理、配膳の各工程の流れの中で、食材が汚染される可能性の高いセクション、重要管理項目を決定し、管理するプロセスチェックのことを言います。

第2部【給食共同調理場】

◆明確なゾーニング

食材の受入れから、調理・配送までのゾーニングを明確にし、人や食材による交差汚染が発生しないように配慮します。

◆気圧差による衛生管理

調理室の空気圧を高く保つことで、外部からの空気が不用意に流れ込むことを防止します。

◆エアシャワーと全自動衛生設備等の衛生管理

学校給食衛生管理基準に基づいた衛生的で効率的な調理環境を整えます。

◆殺菌効果の高い微酸性電解水

高い殺菌効果のある微酸性電解水を、サラダ等の野菜や果物洗浄などに使用します。

3. 炊飯（自前炊飯）

令和2年度までの委託炊飯に代わり、令和3年度以降は施設内の炊飯設備による自前炊飯とします。

4. 食器・食缶類

令和2年度までは2種類の食器（仕切り皿、汁椀）でしたが、令和3年度以降は、カレーや丼ぶりもの、デザート等に対応する専用食器とし、食缶はより保温・保冷効果の高いものを使用します。

5. 供給能力

1日当たり最大2,800食

◆学校給食

小学校：6校、中学校：2校、特別支援学校：2校

最大2,450食（うち、アレルギー対応食30食程度を含む）

◆幼児給食

児童センター等：6施設

最大350食（うち、アレルギー対応食10食程度含む）

※給食数 1,907食（令和8年4月現在）

小学校	1,146食
中学校	633食
特別支援学校	88食
児童センター等	124食
調理場職員	40食

6. 配送先

◆小学校

長井小学校、致芳小学校、西根小学校、平野小学校、伊佐沢小学校、豊田小学校

◆中学校

長井南中学校、長井北中学校

◆特別支援学校

県立米沢養護学校長井校（小学部）、県立米沢養護学校西置賜校（中学部・高等部）

◆児童センター等

致芳児童センター、西根児童センター、平野児童センター、豊田児童センター、伊佐沢児童センター、すみれ学園

7. 給食形態

給食形態は、完全給食（学校：主食・ミルク・おかず、児童センター：主食・おかず）を実施し、米飯給食を基本とし、それぞれ年6回パンの日及び麺の日を設けます。

8. 給食費

◆小学校 保護者負担なし（献立の種類に関わらず：実質給食費 1食 360円）

◆中学校 1食あたり 295円（献立の種類に関わらず：実質給食費 1食 420円）

◆児童センター 1か月 4,500円

9. アレルギー対応食

食物アレルギーを持つ児童生徒に対し、特に人数の多い「卵」と「乳製品」に限定したアレルギー対応食を提供します（学校や児童センター、保護者の方々のご理解とご協力を得ながら、令和5年1月から提供開始済）。

10. 見学・視察対応

食育体験コーナーや、学習、試食が可能な会議室、2階から1階の調理室内部の作業風景が見学できる窓及びモニターの使用により、見学・視察対応を行います。

なお、令和8年度も安全を最優先とし、見学・視察の受け入れ可否は状況により判断します。

■PFI方式による運営

調理場の建設から運営まで民間の活力を生かし、効率的かつ効果的な公共サービスを提供できるPFI方式を導入しているため、運営、維持管理等を一括して民間事業者＝SPC(特別目的会社)が行います。

1. 運営組織

- ◆給食実施者 委託者：長井市長（担当：教育委員会）
- ◆給食事業者 受託者：株式会社長井学校給食サービス
- ◆PFI方式事業実施期間 令和元年8月～令和18年3月

2. 運営業務

- ◆市の業務
 - ①献立作成、食数調整、食材調達及び検収業務
 - ②配膳業務及び給食費の納入管理業務
 - ③視察等来場者への対応、その他の関係機関との調整
 - ④食育指導等
 - ⑤事業者の業務に対するモニタリングの実施
- ◆事業者の業務
 - ①施設等の整備業務（設計、建設）
 - ②施設等の維持管理業務（建築物や付帯施設、調理設備、食器・食缶等施設備品等の保守管理、修繕、更新、清掃及び警備、法定点検等）
 - ③給食の運営等業務（開業準備、調理、衛生管理、配送及び回収、洗浄・残滓処理、運営備品調達、光熱水費の管理等）

3. 組織構成

- ◆市職員：場長1名、副主幹1名、主査1名、事務補助1名
- ◆県費負担職員（学校給食）：栄養教諭2名
- ◆事業者社員：給食運営全般、調理、配送・回収 約40名

令和8年度 長井市コミュニティ協議会事務局本部運営計画

1 目的

- ①人口減少・高齢化といった構造的課題に対し、持続可能な住民の生活を守るため、「地域資源の最大活用」と「新しいテクノロジーの活用」を目指します。
- ②少人数でも、高齢化が進んでも、快適で豊かな生活が維持できる「強靱な地域社会」と、あらゆる人が繋がり作り上げる「地域共生社会」を構築します。

2 目標

- ①地域資源（人的資源、物質的資源、財務資源、情報資源）を活用するための基盤整備に取り組みます。
- ・地域に存在する新たな人材の発見と次世代の育成
 - ・空き家の適正管理や改修による交流拠点の整備
 - ・日常生活の安心ネットワークづくり
- ②自分たちの現在地を知り、次の一手を生み出します。
- ・職員一人一人の振り返りのための人事評価
 - ・地域ニーズにあった事業の推進のための縮充検討
 - ・目標や重点施策と連動した事業計画書の整備

3 重点施策

- ①長井市地域づくり支援員の活動支援
- ②本部機能の充実とコミセン運営の効率化支援
- ③地域コミュニティの継続支援
- ④コミセンの拠点機能の強化支援

4 事業計画

＜本部＞

	目標	事業名	期日	実施主体	対象
①地域づくり支援業務委託料 (129,719千円)	集落支援員制度に基づき中間支援組織として集落の地域づくりを支援する	生涯学習分野事業（6,791千円）			
		・コミセン三大事業 ・コミセン生涯学習分野	※各日程参照	コミセン	市民
	目標	事業名	期日	実施主体	対象
②生涯活躍	地域連携型	地域振興、健康、防災分野事業（10,772千円）			

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

の地域コミュニティ形成支援事業交付金 (22,406千円)	RMOである当協議会の本部機能の充実を図り、各コミセンの効率的な運営を目指す	※コミセン資料参照 ・コミセン地域振興、健康、防災事業	※各日程参照	コミセン	市民
③過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業交付金 (20,666千円)	帰ってきたいなくなる、関わりたいくなる地域の人材循環	地域共創アクションツアー (UI ターン)	6～12 月	本部×民間	首都圏等の UI ターン希望者
		生活者視点の移住体験ツアー (I ターン)	6～9 月	本部×コーディネート	首都圏等の I ターン希望者
		地域産業×関係人口の商品開発プロジェクト	通年	本部×民間	市民
	日常生活の安心ネットワーク構築	コミセン安心窓口（日常生活の安心ネットワーク）			
		・買い物支援	月～金、祝日運行	本部×民間	買い物困難世帯
		・移動支援	随時	コミセン	移動困難者
		・健康づくり講座	随時	コミセン	市民
		・スマホ相談会	随時	コミセン	市民
		・車両購入	上半期	本部	本部配置
		・相談員の研修	随時	本部	職員
		・広報活動	随時	本部×コミセン	市民
	空き家の適正管理・利活用促進	空き家適正管理			
		・個別空き家相談会	通年	本部×民間	市内外
		空き家リノベーション (SENN) 利活用促進			
		・リノベーションワークショップ	随時	本部×民間	市内外

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

		・交流人口拠点強化（物品整備）	随時	本部	拠点候補地
④地域支えあいの除雪活動事業費補助金 (1,200 千円)	市民と協働による安全で安心な地域づくりの推進を図る	地域支えあいの除雪活動事業 ・有償ボランティアによる高齢者世帯の間口除雪（@20 万×6 コミセン）	冬期間	コミセン	高齢者、困難世帯

★長井市の取り組み（コミュニティ協議会との横断連携）

地方創生 2.0 推進の コミュニティ拠点機能構築事業（コミセン高度化事業）	自律した地域づくり、スマート・コンパクトシティの取組を基盤にした官民・他分野の連携と DX で暮らしよさの向上を目指す	日常生活を支える官民・分野横断連携の推進			
		・健康・スポーツ教室（病院医療相談、百歳体操等と市事業連携）	通年	コミセン×行政×民間	市民
		・児童センター連携防災啓発	通年	コミセン×民間	子育て世帯
		・商工会議所連携による買い物ツアー	下半期	コミセン×民間	高齢者
		・商工会議所連携による「健康」企画	下半期	コミセン×民間	高齢者
		・草刈・除雪機器の導入による省力化と担い手拡大効果検証	上半期	コミセン	コミセン、市民
		フェーズフリーの防災機能の強化			
		・フェーズフリー備品配置	上半期	コミセン	コミセン
		・ドローンの活用ニーズの検証実験	下半期	コミセン×民間	市民
		・総合防災訓練や自主防災研修等での避難受付訓練、防災普及啓発	9 月	コミセン×地域団体	市民
		コミュニティ拠点機能運営の DX 推進			
		・長井市公式アプリ（マイナンバーカード連携アプリ）の機能拡張	通年	コミセン×行政×民間	市民
		・キャッシュレス決済の試行	通年	コミセン×行政×民間	市民

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

<中央コミュニティセンター>

令和8年度 中央コミュニティセンター運営計画

1 基本方針

長井市コミュニティ協議会の基本理念に基づきながら、「誰もが幸せに、安心していつまでも愛着ある地域で暮らせるまちづくりの実現」のもと、「みんながずっと住みたい中央地区を目指して」を目標に、誰もが住み慣れた地域でいつまでも住み続けられる持続可能な地域づくりを推進する。

2 目標

ともに築こう ところ豊かな暮らしを

「みんながずっと住みたい中央地区を目指して」

「第2期中央地区地域づくり計画」（令和8年度～令和12年度）の実現に向けて、地域住民とともに、また関係団体等と連携して計画された事業に取り組む。

3 重点施策

①地域振興分野：楽しく交流し、誰もが活躍できる地域づくり

- ・地域の実情にあった持続可能な地域運営に向けて、地域組織の問題や課題の共有を目指す。
- ・中心市街地として住みよい暮らしを維持するための環境活動や学びの場づくりを行う。

②健康安心分野：健康でいきいきと安心して暮らせる地域づくり

- ・心と体の健康づくりのための事業（いきいき百歳体操、健康教室等）を行う。
- ・住民の暮らしを見守り、支えあいの仕組みづくりとして、買い物支援や移動支援を行う。
- ・子どもたちの下校見守りや青パトでの巡回、特殊詐欺防止の研修会等で、防犯意識の向上を目指す。
- ・地域防災力、減災力についての学習会を通して防災意識の向上を目指す。
- ・地場産品の積極的な購入のPRに努め、フードマイレージ削減(SDGs)に向けた取り組みを行う。

③教育文化分野：ふるさとを愛する心の育成と学習機会の充実

- ・地域を支える「未来の担い手」として、「長井が好き」と思う将来を担う若い人の育成に務めるとともに、「中高生地域づくりプロジェクト」で中高生のボランティア活動への参加を奨励する。
- ・多様な年代層を対象とした学習機会を提供する。
- ・地域に残る伝統文化の情報収集と発信を行い、保存活動や学習会を開催する。

④デジタル分野：デジタル技術を活用し暮らしやすい地域づくり

- ・デジタル技術を学ぶ機会を提供し、デジタルデバイドの解消に取り組む。

⑤その他：利用者の目線に添って、利用しやすい施設運営に努める。

4 事業計画

	目標	事業名	期日	実施主体	対象
地域振興	楽しく交流し 誰もが活躍で きる地域づく り	あやめ“花いっぱい”プロジェクト	随時	地域振興専門部	中央地区民
		ふらり学講座	随時		
		交流センターふらり関係団体役員研修会	1月		関係団体役員等
		地域組織の点検研修会	随時		自治会役員等

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

		広報活動事業	随時	広報編集委員会	中央地区民
健康安心	健康でいきいきと安心して暮らせる地域づくり	健康増進事業・百歳体操	毎週火曜日	健康安心専門部	一般市民
		健康増進事業・いきいき健康教室	2～3月		
		いきいき交流フェスタ	9月～10月	実行委員会	
		事業参加者への移動支援・買い物支援活動	随時	コミセン職員	
		交通安全の推進（長小児童下校の見守り）	毎週木曜日	健康安心専門部	長井小児童
		交通安全の推進（各種団体との情報交換会）	年1回		
		防犯対策事業（青色パトロール巡回）	随時		中央地区民
		特殊詐欺犯罪防止の研修会	年1回		
		防災用品展示会	年1回		
		SDGs(エネルギーと食の安全)の推進	随時		
		地域防災の学習会	年1回		運協関係者等
教育文化	ふるさとを愛する心の育成と学習機会の充実	中高生地域づくりプロジェクト	随時	教育文化専門部	南北中学校・長井高校・長井工業高校・市内在住高校生
		親子体験事業「かぶと虫を育てる教室」	5月・7月		市内小学生と保護者
		親子体験事業「畑の楽耕」	5月～12月	畑の協力者会	市内小学生を含む家族
		やんちゃひろば事業「やんちゃ放課後ひろば」	年7回	育みネット長井推進協議会／やんちゃ放課後協力隊	長井小学校児童
		やんちゃひろば事業「夏休み学びと楽しみひろば」	夏休み中	教育文化専門部	長井小学校児童3年～6年生
		交流センターふらりまつり	10月	実行委員会	一般市民
		子育て支援事業「夏まつり交流会」	8月～9月		
		子育て支援事業「冬まつり交流会」	1月		
		子育て支援事業「親子であそぼう」	随時	イクメン講座企画委員会	幼児～小学3年生の子と保護者
		史跡案内板の維持管理、修繕	随時	中央史談会会員	中央コミセン
		文化財めぐり事業	年1回	教育文化専門部	一般市民

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

デジタル	デジタル技術を活用し暮らしやすい地域づくり	スマホ教室(本部事業と共催)	随時	デジタル専門部	中央地区民
		大学生との情報交換会	随時		
		結ネットについての学習会	随時		
共催事業		子ども会長会	5月	中央地区子ども会育成協議会	中央地区子ども会加盟者
		子ども会リーダー研修会	7月		
		自治公民館館長研修会	年1回	中央地区自治公民館連絡協議会	中央地区自治公民館連絡協議会加盟館
		自治公民館関係者研修会	年1回		
		自治公民館対抗バレーボール大会	3月		
		青壮年パークゴルフ大会	6月	中央地区青壮年連絡協議会	中央青壮年連絡協議会加盟地区
		青壮年ソフトボール大会	7月		
		青壮年新春麻雀大会	1月		
その他		各種事業の移動支援事業	随時	中央コミセン	一般市民
		市民ギャラリー事業	随時		一般市民
		自主教室の支援	随時		9団体

＜致芳コミュニティセンター＞

令和8年度 致芳コミュニティセンター運営計画

1. 基本方針

長井市コミュニティ協議会の基本理念「誰もが幸せに、安心していつまでも愛着のある地域で暮らせるまちづくりの実現」のもと、地域住民が目指す「和と活力のまち致芳」を推進するために、「地域の拠点」として、地域づくりと生涯学習の活動を展開する。

2. 目 標

- 「縮充」をテーマに掲げ、地域内各組織と連携し、組織の見直しや事業のタイアップ等を図りながら「持続可能な致芳」の在り方を継続的に検討し、推進する。また、地域内団体とのつながりを強化し、「タイアップ」や「掛け合わせ」を意識しながら、活動のブラッシュアップを図る。
- 地域住民や致芳にゆかりのある人々がお互いに尊重し合い、集い、支え合う「インクルーシブ」な地域活動を目指す。
- 「地域づくり計画書」に基づき、「地域づくりと社会教育の推進」を担う「地域の拠点」として活動する。
- 長井市第3期教育振興計画に掲げる「『長井の心』を育む文教のまち」を実現し、さらに将来、致芳を思える「人財」を育てるため、致芳小学校との連携を密にし、スクール・コミュニティの活動をより一層強化する。

3. 重点施策

- ① 地域交流事業について
 - ・ 令和7年度に実施した「地域力診断カルテ」の分析を実施し、「持続可能な」組織の在り方や地域内活動を検証する。
 - ・ 広報誌の定期的な発行や、ホームページや SNS(Facebook や Instagram)を活用し、情報配信を積極的に行い、多くの交流を図る。
 - ・ 地域内交流を目的とした各種事業の展開や地域住民が気軽に集える機会と場を創出する。
- ② 教育文化事業について
 - ・ 生きがいや仲間づくりの拠点として、「大人の遊び、学び」をテーマとした生涯学習事業(おとな塾)を積極的に展開する。
 - ・ 地域文化の振興を図るため、各団体・組織と連携しながら文化の伝承に努める。
- ③ 環境整備事業について
 - ・ 地域全体で安全安心な防災・防犯体制の構築に努める。
 - ・ 環境美化、自然環境保全の活動に努める。
- ④ 健康福祉事業について
 - ・ 高齢者の居場所づくりの推進
 - ・ 有償ボランティアによる高齢者等の生活支援の推進(移動支援、配食支援、間口除雪など)
 - ・ 社会福祉組織と連携しながら、高齢者や生活弱者、障がい者、認知症の方々の「困りごと」を地域内で解決する生活支援システムを検討する。
※「地域力診断カルテ」の結果をもとに検証する。※地域交流部会との連携
 - ・ 各年代に応じた軽スポーツ教室の充実を図り、健康・体力増進に努める。(トレーニングジムの開放とスポーツ月間の充実)
- ⑤ 産業振興事業について
 - ・ 新たな致芳の魅力を再発見するため、地元企業や商店との連携を図り、致芳らしさの創出に努める。
- ⑥ 地域学校協働活動について
 - ・ 地域と小学校が連携して実施している「Beyond ちほう」プロジェクトの発展(スクール・コミュニティとしての発展)により、地域に根ざした人材育成を展開する。特に「スクールサポーター」の発掘に力を入れ、教育現場との連携やサポート体制の強化を図る。

4. 事業計画

	目 標	事業名	期日	実施主体	対象
会 議	コミセン事業運営全般について協議し、事業の充実を図る。	運営協議会 役員会 専門部会	随 時	運営協議会 専門部会	運営協議会委員 専門部会長
	三大事業(夏まつり大会、スポーツ月間、文化祭)、各種事業運営について協議し事業の充実を図る。	三大事業実行委員会	随 時	各種事業実行委員会	実行委員会委員
	各地域活動の拠点は、自治公民館(分館)であり、その役割の重要性を認識し、相互連携を深めながら自主的活動の振興を図る。	自治公民館長・主事合同会議	随 時	致芳地区自治公民館連絡協議会	自治公民館長・主事
	事業の日程調整、細部の打ち合わせ	定例館内会議	週1回	コミセン	職員・管理人
地 域 交 流 事 業	ふるさとの夏まつりとしての年中行事を大切に、地区民の心のふれあいと明るく豊かな活力ある地域づくりの実践。また、地域文化・歴史をさかのぼり体験することによって地域づくりや文化振興等に対する意識の高揚をはかる。	「致芳橋」架橋促進夏まつり大会	8月22日 (土)	ふるさとづくり促進協会・コミセン・自治公民館連絡協議会・実行委員会	地区民一般
	地域づくりに対する若者の関心を深めることと、リーダーとして活躍できる人材の育成をはかる。スポーツレクリエーション活動を通じた仲間づくり。世代間を超えて交流を深めながら、スポーツレクリエーション活動を通じた仲間づくり。また、少雪を考慮した「冬のイベント」を検討する。	ちほうSNOWフェスタ2027	2月14日 (日)	コミセン・致芳地区スポーツ振興会・致芳地区子ども会連絡協議会	子ども～一般
	コミュニティセンター活動や地区内の情報提供。地域の「人」に密着した情報提供に力を入れる。事業の開催報告ではなく、事業の告知の視点を加える。	コミセンだよりの発行	年数回	コミセン・地域交流部会	地区内全戸・その他関係施設
	令和7年度に全地区を対象に実施した「地域力診断カルテ」のまとめと分析を行い、持続可能な地域運営を検討する。	地域力診断事業	随 時	コミセン・地域交流部会	地域交流部会 運営協議会 地区長会
	明るく住みよい地域づくりを目指し、地区民お互いが語り合い理解し合う気運の高揚。また、地区民が集い、相互を知る機会の場を設ける。	第52回明日の致芳を語る会	12月6日 (日)	致芳地区ふるさとづくり促進協議会・絡協議会・致芳コミセン・実行委員会	地区民一般
		地域交流パーティーの開催	調整中	コミセン・地域交流部会	地区民一般
	自然とのふれあいを身体で学び仲間づくりとたくましい心身の育成。地域づくりへの積極的な参加と青年として果たすべき役割を探り、仲間づくりの意識の高揚。	ウォークラリー大会	日程調整中	コミセン・教育文化部会・スポーツ振興会	子ども～一般 致芳小1年部会
		ワイルドキャンプ	7月11日 (土)～12	コミセン・教育文化部会・致	子ども会育成会 加入者

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

	目 標	事業名	期日	実施主体	対象
教 育 文 化 事 業			日(日)	芳地区子ども 会連絡協議会	
		致芳肝だめし大 会 ※調整中	8 月 2 日 (日)		
	「遊びからの学び」をテーマに、生き がいづくり、仲間づくりを目的とした 事業。サークル化の支援等も行う。	大人塾 ・手編み教室 ・軽運動教室 ・生涯学習教室 ・そば部(愛好会)	随時	コミセン	地区民一般
	地区民の創造的文化活動を推進 し、その成果を発表する場の提供。 さらに致芳小学校学習発表会との 合同開催によって地域学校協働活 動のつながりをより一層強化す る。	文化祭	10月30日 (金)～ 11 月 1 日 (日)	コミセン・教育 文化部会・致 芳地区文化振 興会・自治公 民館連絡協議 会・致芳小学 校・実行委員 会	地区民一般 致芳小学校
	民族芸能の育成と歴史的記録の保 存。 豊かで美しい歴史的伝統のもとに 育まれた文化活動の創造と普及。 芸能文化活動を通じた文化クラブ の育成と心の醸成。	和みの春	4 月 18 日 (土)～19 日(日)	コミセン・ほど きの会	地区民一般
		わらじづくり講習 会	冬期間	教育文化部 会・名人会	地区民一般
		長井おどり参加	7月	コミセン・致芳 地区子ども会 育成会	地区民一般
		郷土史記録事業 ・郷土史会の記録 ・致芳かるたの製 作	随 時	コミセン・教育 文化部会・文 化振興会・郷 土史会	地区民一般
		五十川獅子踊り・ 少年少女五十川 獅子踊り支援事 業	随 時	コミセン・獅子 踊り保存会・西 五十川区・指 導者会	地区民一般
	演劇を通して、地域の歴史と文化 を体感しながら学ぶ。地区民で構 成されたスタッフ・キャストによる 自発的な活動を支援する。(演目設 定、シナリオ作成、舞台構成)	にわが座支援育 成事業	随 時	にわが座・コミ セン	地区民一般
環 境 整 備 事 業	「もしも」の事態を想定した、各地 区の自主防災組織や消防団などが 連携した実践形式の研修会や啓蒙 活動。	致芳防災デー 自主防災研修会	10月頃	コミセン・環境 整備部会・自 主防災会・消 防団第2分団	地区民一般
	地区内一帯のクリーン作戦によっ て、環境美化、自然環境保全に努 める。	クリーン作戦	秋 頃	コミセン・環境 整備部会	地区民一般
	登下校時を中心とした青バト活動 の実施。(主に小学校の下校)	青バト活動	随 時	コミセン	地区民・小学生
	体育レクリエーションを通じ体力増 進はもとより、地区民総参加によ る世代間の親睦と生涯スポーツの 推進と仲間づくり。	致芳スポーツ月 間 第45回地区運動 会	10月中 10 月 4 日 (日)	コミセン・健康 福祉部会・ス ポーツ振興会・ 各種スポーツ 団体	地区民一般

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

	目 標	事業名	期日	実施主体	対象
健康福祉事業		第44回ソフトボール大会	5月10日(日)	コミセン・致芳地区スポーツ振興会	
		第46回バレーボール大会	3月7日(日)		
	長距離ウォーキングを通して、体力と気力の増強を図る。また、自然や町並みに触れながら、世代や職種を超えて交流を深める。	一日八里	4月29日(水) 10月10日(土)	コミセン・一日八里実行委員会	地区民一般
	地域住民の体力向上を図る。生活に密着した生涯スポーツの推進と仲間づくり。トレーナーによる指導により、効果的な筋力アップを狙う。	トレーニングジム開放事業	随時	コミセン・スポーツ振興会	地区民一般
		軽スポーツ教室	随時		
	人とのふれあひの中で生きる喜びを探り、健康の増進と社会参加の高揚。「終活」や「情報化社会」などの現代社会に併せたテーマ設定により、誰ひとり取り残さない地域を目指す。	致芳シニアスクール健康講座	随時	コミセン	地区民一般 高齢者
	高齢者の居場所づくりの一環として取り組む。基本は、「百歳体操」と「茶話会」をベースとするが、参加者の自発的な企画を補佐しながらの「伴走型」の運営を心掛ける。高齢者の体力向上はもちろん、生きがいや仲間づくりを目指す。	百歳体操	毎週木曜日	コミセン・ハッする！ちほう	地区民一般
	主にコミセンを活用する高齢者を対象とした移動支援を有償で実施する。コミセンとしては、コミュニティビジネスの観点で取り組む。	移動支援事業	随時	コミセン・運転協力者	地区民一般
	主に高齢者世帯の間口除雪を有償のボランティアとして行う。ボランティア隊員は、地域の若手が担い、「共助」の地域づくりを目指す。	有償間口除雪ボランティア	冬期間	コミセン・除雪ボランティア協力会	支援申込者
	長井弘徳会からの受託事業。1人暮らしや単身世帯への弁当の配達を行いながら、安否や健康確認を行う。	配食サービス受託事業	週3日	コミセン	支援申込者
産業振興事業	幼児や高齢者、障がい者等の交流を通し、包括的な社会の実現を目指す。	インクルーシブ事業	随時	児童センター・ハッする！ちほう・福祉事業所	地区民一般 児童センター園児 福祉事業所(通所者)
	地域力診断カルテ結果をベースに、主に高齢化に伴う生活支援の在り方を検討する。	生活支援検討事業	随時	コミセン・健康福祉部会・第2層コーディネーター・地区内高齢者団体	地区民一般
	地区内の商店や企業の逸品を知る機会の場づくり。また、各店舗の逸品同士を掛け合わせた新商品の開発を通して、新たな「致芳の魅力」づくりを目指す。	ALL致芳市	8月22日(土)・11月1日(日)	コミセン・産業振興部会	地区民一般
		夏まつり大会抽選会の企画	9月		
		工場見学の企画 ※シニアスクール	随時		地区民一般 致芳小学校児童

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

	目 標	事業名	期日	実施主体	対象
		や小学校との連携			
		致芳グッズの開発	随時		地区民一般
地域 学 校 協 働 活 動 事 業	スクール・コミュニティの発展。 地域の大人と子どもの交流を通して、「和致芳～致芳を愛する心～」を伝達することを目標とする。 将来、地域に根ざした『人財』を育てるため、地域と学校をつなぐ役目を担う。 コミセン職員⇒地域学校協働活動推進員	Beyond ちほう事業 地域学校協働活動 ・スクールパートナーの発掘 ・サマーワーキング	随時 7月27日 (月)・28日 (火)	コミセン・地域 学校協働活動 推進員・ 各種団体	致芳小学校児童 致芳小学校教職員 地区民一般 各種団体

<西根コミュニティセンター>

令和8年度 長井市コミュニティ協議会 西根コミュニティセンター運営計画

1 基本方針

「豊かな自然 明るい未来 みんなでつくる住みよい郷土」を基本目標に、住民一人ひとりが主体となり、世代を超えて支え合う持続可能な地域づくりを進める。

地域の課題や将来像を共有し、若者が住み続けたいとなる活力と魅力ある西根地区の実現を目指す。

2 目標

- ①『学び』『体験』を通じて、憩いの場づくりの育成を目指します。
- ②西根にある『伝承文化』『伝統行事』『風景』を後世に継承し、発展させます。
- ③健やかに暮らせる地域をつくります。
- ④地域資源を活かした産業の創出で、元気ある地域をつくります。
- ⑤安心・安全に暮らせる環境を整え、地域で助け合います。

3 重点施策

① 学び・体験を通じた交流と居場所づくりの推進

地域住民が気軽に集い、学びや体験を共有できる機会を創出し、世代間交流を通じた憩いの場づくりを進める。

② 伝承文化・伝統行事・風景の保存と継承

西根に受け継がれてきた伝承文化や伝統行事、地域ならではの風景を大切に守り、次世代へ継承するとともに、新たな価値の創出につなげる。

③ 健康でいきいきと暮らせる地域づくりの推進

健康づくりや生きがいづくりにつながる活動を支援し、誰もが心身ともに健やかに暮らせる地域環境を整える。

④ 地域資源を活かした産業・活動の活性化

地域の自然や人材、農産物などの資源を活用し、地域の活力向上につながる産業や取組の創出を支援する。

⑤ 安心・安全な暮らしを支える地域連携の強化

防災・防犯意識の向上と住民同士の支え合いを促進し、安心して暮らし続けられる地域づくりを進める。

⑥ 情報発信と調整・連携の強化

地区民はもちろん、市内外の多くの関係者へ、多様なツールで情報発信を行い、コミュニケーションを活性化し、双方の連携強化につなげる。

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

4 事業計画

<西根>

	目 標	事業名	期 日	実施主体	対 象
地域 活 性 事 業	様々な人と つながり、 賑わいのあ る地域をつ くります	第 79 回西根地区体育祭	9 月 13 日	実行委員会 競技役員	地区民
		第 54 回西根地区文化祭	10 月 23 日 ～25 日	実行委員会	地区民
		西根の風景写真フォトコンテスト	通年	地域育成部会	地区民
		第 47 回バレーボール、ソフトバレー ボール大会	令和9年3月 7日	実行委員会	地区民
		地域づくり研修会の開催 ・地域づくり研修会 ・女性対象研修会	随時 随時	地域育成部会 実行委員会	市内外
		居場所づくり事業 ・サロン ・はぎれくらぶ ・コミセン直売所 ・お盆、お彼岸セール ・コミセンカフェ ・コミセン、体育館解放	月1回 隔週火曜日 通年 8月9月 通年 7月12月3月	地域育成部会 西根産地直売所 運営協議会	市内外
		みんなの文楽	11 月 8 日	実行委員会	市内外
		情報発信の強化 ・HP、Facebook 等での発信 ・より良い広報活動の検討 ・館報の発行	通年 通年 年 3 回	西根コミセン	市内外
		コミセンと各種団体の連携による事 業の推進	随時	各団体	市内外
教 育 ・ 生 涯	『学び』・『体 験』を通じ て魅力あ る、誇れる 地域をつく	3 者(地域・学校・家庭)連携事業の 推進 ・教育座談会 ・教育の村宣言記念大会	11 月 2 回 6 月 27 日	五祭所公民館 大沖公民館 西根地区教育連 合会 西根小学校 PTA	地区民 市内外

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

	ります	・おさがりプロジェクト ・西根小学校学習発表会 YouTube 配信	4月10月 10月31日	西根小学校	
		わくわく学習会	7月12月3月	地域育成部会	小学生
	『伝承文化』 『伝統行事』 を後世に継 承し、発展 させます	文化伝承事業 ・しめ飾りつくり ・写経 ・郷土料理伝承	通年 12月 1月 6月7月10月	実行委員会 西根コミセン	市内外
		文化振興事業	4月～	文化振興会	地区民
健康 福祉 事業	健やかに暮 らせる地域 をつくりま す	支え合う仕組みづくり事業、ボラン ティア活動推進事業 ・地域包括支援センターや社会福祉 協議会等の周知 ・高齢者支援グループ構築の推進 ・有償ボランティア活動の推進 ・移動支援の推進 ・間口除雪の推進 ・フードドライブの実施 ・中高生ボランティアの推進	10月23日 ～25日 通年 通年 随時 冬季間 10月 通年	厚生部会 有償ボランティア 中高生ボランティ ア	市内外 地区民
		健康管理事業 ・健診受診勧奨チラシ配布 ・健康チェック、体力測定と健康増 進資料の展示 ・インボディ測定による健康管理と 筋肉づくりの啓蒙	1月 10月23日 ～25日 通年	厚生部会 西根コミセン	市内外
		生活習慣改善事業 ・家庭血圧測定の習慣化の推進	10月23日 ～25日	厚生部会	市内外

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

		健康づくりや認知症予防事業 ・百歳体操、カミカミ体操、茶話会の開催 ・のびのびストレッチ教室 ・ノルディックウォーキング教室 ・元気アップ体操 ・ヨガ教室 ・エンジョイ吹き矢教室 ・健康麻雀教室 ・脳トレ教室	毎週月曜日 隔週月曜日 隔週火曜日 隔週木曜日 隔週金曜日 隔週日曜日 随時 毎月1回	厚生部会 西根コミセン	市内外
		交流の場づくり事業 ・地域食堂の検討	随時	厚生部会 地域育成部会	地区民
地域産業振興事業	地域資源を活かした産業の創出で、元気ある地域をつくれます	食育の推進による農業担い手の育成 ・種まきから始める味噌づくり楽校の推進 ・縄文発酵楽校「じよもす」の推進 ・材料が100%西根産へチャレンジ芋煮 ・種まきから始めるキムチづくり ・納豆づくり、豆腐づくり、こんにゃくづくり 等	通年 通年 10月24日 通年 10月～2月	産業部会	市内外
		地域農産物を活かした6次産業化への取組み	通年	産業部会 じよもす	市内外
		多面的機能支払や中山間地域等直接支払など交付金制度の体制づくりの推進	通年	産業部会	活動組織
		農業人材確保アプリ活用研修	通年	産業部会	農業者等
		森林資源を活用する里山整備の推進	通年	産業部会 各区 生産森林組合等	地区民
		小水力発電など地域分散型電源の	通年	産業部会	地区民

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

		研究と各種発電所との連携		環境整備促進協議会	
		電力視察研修	6月下旬	産業部会 環境整備促進協議会	地区民
		古代の丘周辺整備の推進 ・景観作物の栽培 ・醸造用葡萄の栽培 ・支障木伐採や下草刈り等 ・西根観光ポータルサイトの開設並びに観光PRの強化 ・統一観光案内板設置の推進	通年	産業部会 各種関係組織団体 管理団体 環境整備促進協議会	地区民
生活環境整備事業	安全・安心に暮らせる環境を整え、地域での助け合いを推進します	地域防災の強化 ・防災意識向上研修会の実施	随時	環境部会 地域育成部会	地区民
		自主防災組織活動の継続 ・災害未然防止等の啓発活動 ・防災用品の周知斡旋 ・出前講座の実施と支援 ・自主防災組織への支援	通年	環境部会 自主防災組織連絡協議会 各自主防災組織	地区民
		水環境保全の推進 ・河川等の維持管理推進 ・下水道の普及と合併浄化槽の推進 ・水環境の知識向上と情報提供	5月～10月 随時 随時	環境部会 地区長会	地区民

<平野コミュニティセンター>

<平野>

	目標	事業名	期日	実施主体	対象
地域交流	地域資源を活かした人づくりとまちづくりを推進します	・水と緑の感謝祭	6月28日	実行委員会 地域交流部 地区長会 自公連 小学校PTA	地域住民 長井市内外
		・文化祭・文化講演会	11月27～ 29日	実行委員会 地域交流部 自公連 実行組合 小・中学生 老ク連	地域住民 長井市内外
		・新春地区民のつどい	1月17日	実行委員会 地域交流部 地区長会 自公連	地域住民
		・百秋湖まつり (売店出店)	10月下旬	地域交流部 ボランティア会	地域住民、 長井市内外
安全・安心	人と自然に優しく安全で安心して暮らせるふるさとづくりを推進します	・環境推進ふるさと事業 (花いっぱい運動) (あいさつ運動) (公園美化活動) (道路清掃とペット糞処理)	通年 8月16日 4月～11月 5月・9月	環境ふるさと協議会、 地域安全部	地域住民
		・地域安全安心推進事業 (講習会) (通学路・生活道路安全確認及び危険箇所チェック)	6月中旬 7月上旬	安全推進協 地域安全部 地区長会 交通安全協会 防犯協会	地域住民
		・自主防災組織と連携事業 (避難所開設訓練等)	7月下旬	自主防災組織 地域安全部	地域住民
		・空缶ポイ捨て禁止啓蒙	通年	環境ふるさと協議会 地域安全部	地域内

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

				環境保全会	
		・リサイクル運動推進事業 (アルミ缶回収等)	8月14・ 16日	環境ふるさと 協議会、 地域安全部	地域内
		・地区資源回収とゴミ集荷 一覧作成	4月1日	地域安全部 地区長会 広報委員	地域内
		・地域安全マップの作成 (全戸配布)	6月中旬	安全推進協 地域安全部 広報委員	地域内
		・有償ボランティア事業 (間口除雪)	冬季間	地域安全部 除雪支援隊	地域住民
		・地域安全研修会・講習会	11月下旬	安全推進協 地域安全部 地区長会	地域住民、 安全推進協 見守隊 自主防災会
健康福祉	支えあい・健康でいきいき暮らせる平野を目指し推進します	・健康平野すまいる健康教室 (ストレッチ教室、 ボディポテンシャル教室 エアロビックス教室 ボクシングエキササイズ 等)	通年 毎週木曜日 隔週水曜日 隔週火曜日	健康福祉部	地域住民、 青壮年層、 女性層 地域外
		・福祉研修・座談会開催	11月下旬	健康福祉部 地区長会	地域住民 高齢者等
		・花笠ダンベル体操	4月～12月 毎週金曜日	地区活動団体	地域住民 高齢者
		・体力測定会	通年	健康福祉部 運動推進委員	地域住民
		・移動支援事業	通年	地域協力隊 健康福祉部	地域住民 高齢者等
		・買い物支援事業	通年	健康福祉部	地域住民 高齢者等
生涯スポーツ	住民ひとり1スポーツを楽しむ	・自治公民館対抗スポーツ大会		自公連 体育振興部	地域住民 青年層

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

	しむ元気な取組を推進します	(ソフトボール・ビーチバレー大会) (バレーボール大会) (卓球大会)	6月14日 8月2日 1月31日		女性層
		・ふれあい運動会	10月11日	体育振興部 自公連 組頭・参謀	地域住民
		・なでしこサッカー教室	通年 隔週火曜日	ボランティア委員 体育振興部	地域住民 (女性限定)
		・ミニデイ軽運動	通年 月・木・ 金曜日	運動推進委員 体育振興部	地域住民 (高齢者)
生涯教育	長井の心を育む事業として、地域の自然、環境、文化に触れ、学びを通して郷土を愛し誇りに思う心の醸成に努めます	・ふるさと少年教室	4～2月 毎月1回	生涯学習部	地域住民 (小学生)
		・長井の心を育む事業 (長井おどり) (リーダー研修) (KYT事業)	7月4日 7月 2月	生涯学習部 子育連 育みネット	地域住民 (小中学生)
		・夏休み勉強会	8月初旬 2日間	生涯学習部 地域協力者 (中・高校生)	地域住民 (小中学生)
		・土曜ランド	毎月土曜日 午前	育みネット 生涯学習部 各種団体	地域住民 (小学生)
		・野川学級 (交通安全・詐欺対策等)	4～10月	老ク連 生涯学習部	地域住民 (高齢者)
		・地域文化伝承事業	11月下旬	生涯学習部 獅子踊り保存会 文化財研究会	地域住民
		・麴・味噌づくり事業	1月中旬	麴と味噌をつくる会 小学校母親委員会 生涯学習部	地域住民 地区外

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

		・農業体験事業 (稲作体験) (野菜体験)	4～10月	小学校 PTA JA 青年部 環境保全会 生涯学習部	地域住民 (小学生)
コミュニティセンター主体事業	住民の活動拠点として、機能向上と住民活動の支援を行います	・麻雀教室 (老若男女の異世代交流とフレイル予防対策)	年4回 (春夏秋冬)	実行委員 運協委員 ボランティア会 広報委員 実行組合長会 事務局	地域住民 (青壮年層)
		・絵手紙教室	毎月 第3木曜日		地域住民
		・長井さしこWS (広域ネットワーク連携)	隔月		地域住民 地区外
		・新たな講座の試行 (ライングループによる危機管理と情報の共有化)	通年		地域住民
		・平野ビアガーデン (自主防災炊き出し訓練)	8月下旬		地域住民
		・サロン整備 (居場所づくり)	通年		地域住民
		・館報の発行 (地域ニュースの発行)	年6回 通年		地域住民
		・地域づくり計画見直し (振り返りと気付き)	通年		地域住民
		・コミュニティビジネス事業 (直売事業と6次産業化)	通年		地域住民

<伊佐沢コミュニティセンター>

令和8年度 伊佐沢コミュニティセンター運営計画

1 基本方針

長井市コミュニティ協議会の基本理念「誰もが幸せに、安心していつまでも愛着のある地域で暮らせるまちづくりの実現」のもと、「住んで良かった、これからもずっと住みたい伊佐沢」の実現に向けて、充実した人生を送れるよう各世代に応じた地域づくり・生涯学習を推進する。

2 目 標

豊かな自然の中で、人と人がふれあう、共生の里 ～ いさざわ ～

『住んでいて良かった、これからもずっと住みたい伊佐沢』

令和7年度から令和11年度までの第2期地域づくり計画の実現に向けて関係団体と連携して計画された事業に取り組む。

- ① 「豊かな自然を生かして 人と人のふれあうインクルーシブ(共生)の里」を目指して、各種交流事業を積極的に推進し、にぎわいと活力、共に学び豊かな心を育み、福祉の向上と活気あふれる地域づくりを進める。
- ② 桜の里としての魅力とともに、多彩な地域産農産物についての発信を通して、交流人口の拡大を目指す。
- ③ 伊佐沢の魅力発信と地域文化の継承を通して伊佐沢の良さを共有する事業を行う。
- ④ コミュニティセンターとして、地域の人たちと共に、地域づくり活動推進の中核を担うとともに、豊かな心を育む生涯学習活動を推進する。

3 重点施策

① 地域振興事業

- ・農村型地域運営組織(農村RMO)による農用地保全・地域資源の活用・生活支援事業の計画づくりを進める。
- ・久保桜を核として、さくらが咲き誇る里の魅力を発信するとともに、関係団体と連携して老化が目立つ桜の保護活動に取り組む。
- ・地区内生産物の紹介と販売を通して伊佐沢の魅力を地区内外に広く発信し、交流人口の増大に取り組む。
- ・市と協力して空き家の把握を行うとともに、研修・相談の機会を設けて、I・Uターン、農業体験・移住・定住に対応できるよう努める。

② 教育文化交流事業

- ・生涯学習・文化活動を推進し、生きがいを持って暮らせる地域づくりに取り組む。
- ・地域の特性を生かした体験活動・学習の場を提供するとともに、関係者と連携して地域での子育てサポートに取り組む。
- ・念佛踊りなどの地域文化の次世代への継承とともに、文化溢れる地域を創出する。
- ・各種事業を通じて住民交流の機会を増やし、世代ごと及び世代を超えた交流の輪を創出する。

③ 健康福祉事業

- ・生きがいづくりを推進し、元気で生き生きと過ごせる場を提供する。
- ・生活支援組織運営への支援を通して、お互いに助け合う地域づくりを目指す。
- ・健康診断受診を推奨するとともに、健康管理を行い、健康で生き生きと暮らせるよう取り組む。

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

- ・希望ヶ丘コロニー施設開設に向けて、障害のある人もない人も、共に生き生きと暮らせるインクルーシブな意識を持った地域づくりを目指す。

④ 生活環境事業

- ・有害鳥獣による被害を阻止するため、地区全体で対応を推進するとともに、補助事業で設置した電柵の維持管理状況の確認を継続する。
- ・地域住民一人一人が交通安全に関心を持ち、交通事故防止と道路環境の改善に向けて取り組む。
- ・地域の安全安心を一層高めるため、見守り活動と青パト(公用車)による巡回活動を推進する。
- ・自主防災組織等連絡協議会との連携により研修会等を開催し、災害発生時の対応力を高める。
- ・自然豊かな伊佐沢の風景を残すため、自然を守り育む活動を推進する。

4 事業計画

	目 標	事業名	期日	実施主体	対象
会 議	コミセン事業運営全般について協議し、事業の充実を図る。	運営協議会	随 時	コミセン運営協議会	運営協議会委員
	三大事業、各種事業運営について協議し事業の充実を図る。	三大事業実行委員会	随 時	各種事業実行委員会	実行委員会委員
地 域 振 興 事 業	コミセン事業・地域課題について、デジタルと紙ベースを併用したアンケート調査を実施する。	アンケート調査の実施	随 時	コミセン	地区民
	コミセン事業及び郷土料理や田舎暮らしの様子を動画で配信し、地区内外に広くPRする。	動画配信 (YouTube)	随 時	コミセン事務局 有志	地区内外
	コミセン事業の広報と情報提供。読みやすく親しみの持てる構成とする。	コミセンだより 発行	年4回 6月、9月 12月、3月	コミセン	地区民
	10年後の伊佐沢に向けた地域づくりについて、識者の講話と広い年代の意見交換の場とする。	伊佐沢の将来を語る会	1月 (第3日曜日) コミセン	運営協議会	地区民
	地域づくりに若い世代の意見を反映させるため、PTAなどと協力して意見交換会を開催	地域づくり意見交換会	随 時	PTA 児童センター父母の会 コミセン	PTA会員 保護者
	令和9年度からの実施に向けて農村RMO事業計画作成。	農村RMO事業計画作成	随 時	農業団体 運営協議会 コミセン	各団体
	伊佐沢の豊富な果物や野菜を活かした六次産業化の推進。	六次産業化推進	随 時	コミセン事務局 有志	地区民
	直売場等と連携して、文化祭等の事業の際、伊佐沢地区の物産直売を実施。	地区内生産物販売	随 時	コミセン 伊佐沢直売場 農協青年部	地区民他
	市と協力して久保桜売店の運営。	久保桜売店運営事業	4月12日(日) ～19日 (日)	コミセン 市	観光客他
	地縁団体伊佐沢教育会事務局として、事業推進にあたる。	伊佐沢教育会運営事業	随 時	伊佐沢教育会	地区民

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

	目 標	事業名	期日	実施主体	対象
	指定管理者として、多目的研修センターの管理運営。	向山荘管理事業	随 時	コミセン	市民他
	空き家相談会などを通して、空き家を把握し、I・Uターン農業体験、移住などに対応できるようにする。	空き家対策	随 時 地区内	地区長、コミセン	地区民
	農業委員等の関係者と協力して耕作放棄地を把握し、景観維持対策として、農地の有効利用を図る。	耕作放棄地対策	随 時 地区内	農業委員 コミセン	地区民
教 育 文 化 交 流 事 業	自然に親しみながら、豊かな心を養い、失われつつある身近なものを再認識し、仲間づくりを進める。	少年教室	5月～1月	コミセン 教育文化交流部	小学校 3～6年
	心身ともに健康で、学習機会や地域活動に参加し、仲間づくりと生きがいづくりを図る。	春風学級	6月～3月	コミセン 教育文化交流部 伊佐沢地区老人クラブ	高齢者
	地区住民の要望に応えるため、必要に応じて講座や教室を開催する。	生涯学習関連講座、教室	5月～3月	コミセン 教育文化交流部	地区民
	長期休暇を利用し勉強会を開催する。勉強会の他に、さまざまな分野の先生を招き、体験学習も行う。	コミセン寺子屋	夏休み 春休み他	コミセン 教育文化交流部	小学校 5～6年
	放課後の居場所づくり(サードプレイス)の提供と子どもの興味関心を高める。	アフタースクール事業	年3回程度	コミセン コミュニティ協議会	小学生
	伝統芸能の継承及び保存育成、後継者育成支援と久保桜での公演。	伊佐沢念佛踊り 支援事業	4月12日(日)	念佛踊り保存会 コミセン	保存会
	伝統芸能の継承及び保存育成と後継者育成。文化祭で発表。	少年少女念佛踊り 育成事業	10月31日(土)	伊佐沢小学校 コミセン	小学校 4～6年
	地域住民の総意と工夫による作品の展示、ワークショップ、子どもが楽しめるコーナーの設置。	文化祭&秋祭り	10月31日(土) 11月1日(日)	三大事業実行 委員会 関係団体	地区民
	子どもから大人まで参加する、夏を楽しむ事業として実施。	夏まつり交流会	7月	三大事業実行 委員会、運営協議会	地区民
	小学校と連携し、住民相互の交流、世代間の交流を図り、健康体力づくりを進める。	合同運動会	6月14日(日)	運営協議会、三 大事業実行委員 会、小学校、PTA	小学生 地区民
	子どもから高齢者まで、誰でも参加でき、簡単にできるスポーツを体験し、交流を深める。	スポーツ交流会	10月	運営協議会	地区民
	沖縄と山形の異文化交流を通して、地域を見直し、視野を広め、地域活性化につなげる。	沖縄交流事業 (金武町並里区訪問)	8月訪問予定	コミセン、実行委 員会、子ども会	中学生 地区民
	長井踊りを習得して、パレードに参加し、仲間づくりを進める。	長井踊り大パ レード参加	7月	コミセン、運営協 議会、子ども会	地区民

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

	目 標	事業名	期日	実施主体	対象
	市と連携して移住体験事業の受入協力。	移住定住体験事業	随 時	コミセン コミュニティ協議会	都市部の 希望者
	世代間の交流を深めることを目的に開催する。	世代間麻雀大会	2月	コミセン、 燦燦会	地区民
	地域の青・成年を対象とした交流組織の立ち上げ。	青成年組織づくり	随時	農協青年部 コミセン、若連	青・成年
	子どもからお年寄りまで、みんなで楽しく食事をして交流を図る。	地域食堂	5月～	コミセン チームしっから	地区民
健康 福祉 事業	地区内のミニデーやサロン活動への協力。	生きがいづくり 教室	随 時	コミセン 自公連	地区民
	軽運動による体力維持を行い、日常的に運動することを心掛け健康づくりに努める。	軽運動教室	随 時	コミセン	地区民
	買い物に行くことが困難な高齢者や子どもを対象に買い物支援を行う。	買い物支援事業	随 時	コミセン	高齢者、幼 児、小学生
	長井弘徳会からの委託を受け、一人暮らし高齢者・単身世帯へ弁当の配達、配達に合わせて安否確認・健康確認を行う。	配食サービス受 託事業	週4回	コミセン 協力者	希望者
	生活支援ボランティア「しっから」活動への支援。	生活支援	随 時	コミセン 「しっから」	支援申込者
	高齢者世帯などの間口除雪事業。	間口除雪事業	降雪期間	(仮)除雪協力隊	高齢者世帯
生活 環境 事業	花いっぱい運動や、親切・挨拶運動の推進により、環境美化意識を育み住みよい地域づくりを進める。	環境の美化・保全 運動	4月12日(日) 5月～	コミセン、地区 長会、自公連	地区民
	伊佐沢を縦断する「逆川」のクリーンアップ作戦で、環境美化に努める。	クリーンアップ作戦	6月28日(日)	地区長会、コミ セン	地区民
	クマ・イノシシなどの鳥獣害から農作物・農地と地区民の安全を守る。	鳥獣対策事業	随 時	コミセン、鳥獣 被害対策協議 会、猟友会	地区民
	伊佐沢地区自主防災組織等連絡協議会の運営を通して、地区内の情報共有を進めて災害に備える。	自主防災組織等 連絡協議会	随 時	コミセン、生活 環境部会、地区 長会、消防団	自主防災 組織
	登下校の時間帯を中心とした青パト活動の実施。	青パト活動事業	随 時	コミセン 有志	地区民
	自然災害に備えた研修会の開催。	防災組織研修会	10月25日(土)	防災組織等連絡 協議会、コミセ ン	自主防災組 織関係者
	防災ラジオの点検活用や防火水槽の管理点検の実施。	防災関連	随 時	コミセン、生活 環境部会	地区民

<豊田コミュニティセンター>

令和8年度 豊田コミュニティセンター運営計画

1 基本方針

地域住民が、将来にわたり明るく楽しく住みよい地域を目指して、地域課題の解決、生涯学習推進、地域内外交流の促進、地域の福祉向上に取り組む。

2 目標

- ・豊田の魅力の地域内外へのPR促進及び新たな観光資源の整備による地域の活性化。
- ・住民同士の助け合いを基本とした地域で守る豊田の安全安心。
- ・文化交流の促進と歴史、文化遺産の継承。
- ・豊田の未来を創る人材の育成と各種団体活動の活性化。
- ・生涯スポーツの振興と食生活改善に地区民全員の健康づくり。
- ・地域で支え未来につなぐ元気な長寿社会づくり。
- ・積極的な情報発信と交流の促進。

3 重点施策

【1】高齢者支援事業

- ① コミセン事業時やイベント時実施時の送迎は、なお一層の希望者を募り実施。
- ② 移動支援（買い物等のため）は、定期開催（月1回又は2回）を図る。
併せて、希望者の増加を目指して、今泉、時庭のミニディ組織に広げる。
- ③ 移動販売車の手配等は、一層の啓蒙を図る。
- ③ お茶飲み会等は、百歳体操後の時間等を活用し、気の合う仲間でフリースペースを使いながら自然と広げてゆく。
- ④ 高齢者の相談会は、他の実施団体の内容を調査し検討する。

【2】地域開発部の6次産業化の推進と歴史講座等

- ① 干し芋製造と販売は、サツマイモの栽培から品質管理を徹底し、製品品質を高める。
- ② 干し芋づくり及びドライフルーツ実践教室を開催し、製造量を増やすとともに地域の特産品として啓蒙普及を図る。
- ③ 朝市や文化祭等で、製造した干し芋・ドライフルーツを大々的に販売、同時に焼き芋を作って販売していく。
- ⑤ 歴史講座は、今年度も実施する。また、豊田小学校等へ出前事業として歴史教室を実施。

【3】百歳体操は、引き続きクラブ役員による月2回の定期開催をする。

【4】間口除雪について

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

①確実に除雪依頼者の増加がみられるので、チームとよだの除雪実行部隊の増強も図る

【5】青パト活動の充実

① 熊の出没が増えており、小学校及び中学校の下校時の見守り活動を増やす。

【6】豊田地区軽音楽部の活動支援

① 豊田小学校 PTA 役員経験者を中心に、地域から仲間を募集し令和7年度に発足した。広報交流部の多世代交流事業として今後も支援。

4 事業計画

区分	目 標	事 業 名	期 日	実 施 主 体	対 象
会 議 関 係	各事業の計画実施にあたりその充実を図る。	運営協議会（兼振興会） 運営委員会（兼常任委員会） 企画推進委員会	随時	運営協議会・振興会	運営委員会委員（兼常任委員） 各推進班
	自主的な運営内容のもと、企画、運営を担う。	地域開発部 安全安心部 文化学習部 健康体育部 生活福祉部 広報交流部 各実行委員会	随時	運営協議会・振興会 各専門部 各実行委員会	各専門部員 各実行委員
	各月行事の計画と週内行事、事業等の確認。	月例館内会議 各週館内会議	月始 週始	コミセン事務局 運営協議会	コミセン職員
地 域 開 発 分	イベントの開催による観光資源のPR促進。	ながいフットパスウォーク	4月	建設課・運営協議会・地域開発部	地区民・一般
	豊田の歴史の継承と歴史の学習。	ふるさと歴史講座 ふるさと歴史教室	1月～ 3月	運営協議会・地域開発部・振興会・歴史文化研究会	地区民・一般
	新たな観光資源の開発・整備。	ひまわり植栽・コスモス種まき・ラベンダー植栽	適期	運営協議会・振興会・豊田塾	地区民・一般
	白川きらりふるさと河川公園の美化。	河川公園維持管理	5月～ 10月	チームとよだ	部員
	地域農産物を活用した商品開発及び販売。	ござって朝市	年3回	運営協議会・振興会・豊田塾	地区民・一般
		六次産業化の推進	1月～	地域開発部・運営	地区民・一般

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

野		(干し芋等の製造・販売)	3月	協議会・振興会	
	地域農産物の加工及普及のための実践教室。	干し芋等の実践教室	1月～3月	地域開発部・運営協議会・振興会	地区民・一般
区分	目 標	事 業 名	期 日	実 施 主 体	対 象
安 全 心 分 野	もしもの場合に備えた各種訓練。	防災訓練や防災セミナー	随時	安全安心部・運営協議会・振興会・消防団	地区長会・自主防災会役員
	交通安全教室の開催と高齢者の事故防止。	いきいき学級	8月	運営協議会・振興会・いきいき学級	高齢者
	隣組住民同士の協力による地域コミュニティ維持。	避難訓練の実施	随時	安全安心部・運営協議会・振興会・地区長会	地区民
	防犯や熊対策のための見守り活動。	青パト	随時	運営協議会・振興会・地区長会	小学生及び中学生
	予防防災強化、ハザードマップの利用及び豪雪対応マニュアルの作成。	安全安心部	随時	安全安心部・運営協議会・振興会・地区長会	地区民
	命のバトンの普及啓蒙	豊田地区長連合会	随時	生活福祉部	高齢者
文 化 学 習 分 野	色々な活動や研修を深める中で豊かな生活力を身につける。	HMクラブ(ホームメイキングクラブ)	4月～3月	クラブ会員 運営協議会	一般
	次代の地域活動の指導的役割を担う人材の育成。	リーダー育成事業	4月～3月	運営協議会 振興会	一般
	土曜日の子供たちの居場所作りと、地域の方たちとの交流を図る。	土曜らんど	5月～3月 年3回	運営協議会 事務局	小学生 中学生
	色々な事を体験する教室。その体験を生かし、自分に合ったことを見つける。	大人の体験教室	6月～2月	運営協議会	豊田地区民(大人)
	地域住民の協力と参加を得て、水曜日の放課後	豊田Wednesdayクラブ	6月～10月	クラブスタッフ運営協議会・振興会	豊田小学校児童

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

	に子供たちが行う学習、体験、交流の場。		年4回		
区分	目 標	事 業 名	期 日	実 施 主 体	対 象
文 化 学 習 分 野	地域住民の創意工夫による作品発表の場を提供し、より一層文化活動に対する意欲の高揚を図る。	第52回ふるさとづくり文化祭	11月	運営協議会・振興会 文化学習部 文化祭実行委員会	豊田地区民
	地域づくりを目指して地域の人々が集い合い、課題や希望を語り、その解決や実現に努める。	第52回豊田地区を語る会	1月	運営協議会・振興会 専門部推進班	豊田地区民
	それぞれの季節の食材を使った地元につながる料理を作り、みんなで食の文化を伝承していく。	食文化事業	年3回	食生活改善推進協議会・更生保護女性会・運営協議会	豊田地区民
	地域づくり計画に基づき事業を行い、単年度の事業遂行結果の反省や見直し等行う。	地域づくり事業	5月～2月	運営協議会・振興会	豊田地区民
	地域内の主要団体役員の役割について理解し、各所属団体の育成に努める。	地域づくり研修会	10月	自治公民館連絡協議会・運営協議会 文化学習部	自公連
健 康 福 祉 分 野	体力づくりを図りながら地区民相互の交流と親睦を深める。	第46回卓球大会	2月	健康体育部 卓球大会実行委員会・運営協議会	豊田地区民
	様々なレクリエーションをとおり、仲間づくり、リーダーの育成・健康な体をつくる。	豊田レクリエーションクラブ	毎週木曜日	クラブ会員 運営協議会	一般

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

区分	目 標	事 業 名	期 日	実 施 主 体	対 象
健康福祉分野	健康で生きがいのある人生を送るために、お互いの交流・親睦を深め、ゆとりのある生活を送れるよう努める。	いきいき学級	5月～12月	学級生 運営協議会	高齢者
	世代交流事業として実施していた事業をより親子のふれあい事業として再構築。	白川が育む豊かな自然ふれあい事業	10月	水辺のわらしっ子 広場 運営協議会	小学生と親
健康福祉分野	高齢者のフレイル予防と居場所作り。	百歳体操	毎月第1、3水曜日	百歳体操クラブ 運営協議会	高齢者
	希望者を募り、スーパーまでの送り迎えを実施する。	移動支援（買い物支援事業）	随時	チームとよだ 運営協議会	高齢者
	地域の健康診断の受診率の向上。	健康診断受診勧奨事業	随時	生活福祉部 運営協議会	地区民
	地域の福祉活動の理解を促進させるため。	地域福祉意見交換会	10月	生活福祉部 運営協議会	地区民
広報交流分野	様々なイベントを通して地域住民相互の親睦と融和を図りふるさとに資する。	第60回ふるさとづくり夏まつり	8月	運営協議会・振興会 夏まつり実行委員会・広報交流部	地区民
	コミセン並びに関係団体の活動状況・案内・情報提供し、地区内の関心度を高める。	館報「とよだ」発行	4月～3月	運営協議会・振興会 総務推進班 広報交流部	豊田地区全域
	音楽を媒介とした多世代交流事業。	豊田地区軽音楽部	4月～3月	運営協議会・振興会 広報交流部	地区民

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

区分	目 標	事 業 名	期 日	実 施 主 体	対 象
共 催 事 業	いろいろなスポーツを通して、健康づくり体力づくりを図り、相互の連帯と親睦を深める。	第41回ソフトボール大会	6月	自治公民館連絡協議会 運営協議会	一般
		第25回ドッジボール大会	7月	子ども会育成会 連絡協議会 運営協議会	小学生
		第52回ソフトバレーボール大会	7月	自治公民館連絡協議会 運営協議会	一般
維 持 管 理	地域住民の憩いの広場として、管理運営に努める。	白川グランド	随時	運営協議会・振興会 地区長連合会 自治公民館連絡協議会 水辺のわらしっ子広場 チームとよだ	各委員
		白川きらりふるさと河川公園	随時	運営協議会・振興会 チームとよだ	各委員
	体育施設の運営と管理、体育振興に努める	豊田体育館管理運営（サンビレッジ豊田）	随時	体育館運営委員会・利用者の会 運営協議会	市民
団 体 育 成	各育成会の相互の連携を密にしより望ましい活動の推進に努める。	豊田地区子ども育成会連絡協議会	随時	子ども育成会連絡協議会	20地区
	地区内の各分館の連絡調整を行い、さらに分館活動の振興を図る。	豊田地区自治公民館連絡協議会	随時	豊田地区自治公民館連絡協議会	17分館
	趣味を生かし楽しい生活の中で自分発見のできる団体活動の育成。	豊田地区老人会	随時	老人会	各会員

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

区分	目 標	事 業 名	期 日	実 施 主 体	対 象
団 体 育 成	体育施設の運営と管理、健康増進、体育振興に努める。また、情報交換、利用者日程調整に努める。	長井市民豊田体育館運営委員会及び利用者の会	随時	体育館運営委員会・利用者の会 運営協議会・振興会	市民
	地域環境整備と地域ボランティア活動、子供の見守り活動。	白川きらりふるさと河川公園の維持管理 除雪ボランティア（間口除雪） 青パト活動	随時	チームとよだ 運営協議会	豊田地区民
	「水辺のわらしっ子広場」として整備した豊かな自然環境を利用し、子供たちが体験活動を通して個性豊かでたくましく成長していく手助けをする。	水辺のわらしっ子広場	随時	水辺のわらしっ子広場	小学生と親

令和8年度 長井市立図書館事業計画

1 本館を取り巻く状況

(1) 図書館界の状況

図書館サービスの基本的な考え方は、安全・安心を最優先に、社会基盤としての役割を継続的に果たしながら、多様な文化と価値観を受け入れ・育む役割を果たすことにある。そのため、今後も非来館型サービスや読書バリアフリーの推進に向け、図書館職員の知識・技能の獲得と向上させるための研修を継続して進める。

(2) 市行政の動向

「しあわせに暮らせるまちづくり」の拠点として、図書館と子育て世代活動支援センターからなる公共複合施設「くるんと」を位置づけ、市民が地域の課題解決に向けて主体的に学習や活動を展開し、多様性の実現を支援するサービスを充実するなど、地域活性化やまちづくりへの貢献が求められている。

(3) 本館の動向

安全・安心を最優先に“利用者のニーズに応えるサービス”を提供するという機運を高め、アンケート等で寄せられた意見や要望を尊重しながら、「つながりの場」を創出し、にぎわいや交流の拠点となる図書館運営を行う。

2 基本的な運営方針

① 住民のニーズに応じたサービス提供

本館は、登録者一人当たりの貸出冊数や貸出密度が高い現状にある。公共図書館の使命は万人にサービスを提供することであり、来館型と非来館型のサービスの両立や読書バリアフリー環境の整備、安全・安心に滞在できる環境づくりなど、利用者の幅と数の拡充に一層努める。

② にぎわい創出・地域課題解決のためのサービス提供

「地域づくり計画」の策定を通して地域課題が明確化されたことから、地域住民が地域の課題を自主的に解決しようとする取り組みや、多様性の実現に向けた取り組みを支援する。また、行政と連携したサービスを模索して、新たな自分との出会いを紡ぐなど地域の課題解決と自己実現にも役立つ図書館運営に取り組む。

③ 子どもの読書活動の推進

小学生の図書貸出は微増傾向にあるものの、中高生の利用も学校の利用も未だ限定的である。探究学習やGIGAスクールの導入に伴い学校図書館の重要性が増しており、図書館と学校が連携して読書活動や授業に必要な本や資料を効果的効率的に提供するための仕組みづくりが必要である。アウトリーチサービスでは、ブックトークや読み聞かせなどを通して、「本の魅力」をしっかりと伝えられる体制づくりや職員研修が不可欠である。

以上を踏まえ、子育て世代活動支援センターと複合化している利便性を踏まえ、両施設の機能を連携・融合して利用者が利便性を十分に感得できる環境づくりに努める。

④ 図書館ボランティア・サポーターの組織化

図書館利用を促進するには、市民が主体的に図書館の整備と運営に参画することが重要であり、市民ボランティアやサポーターの組織づくりに努める。

⑤ 移動図書館サービスの提供

市内幼児保育施設及び小学校に出向いて読書サービス提供を継続する。また、高齢者や、病院や施設に入院入所している人たちなどのニーズを把握するための準備を進める。

⑥ 郷土資料・地域資料の充実

郷土資料・地域資料コーナーの開架率を高め、活用できるよう整備する。また、重要資料のデジタル化や図書館と文教の杜の資料を一括管理できるシステムの構築を検討する。

⑦ 図書館のバリアフリー化とアクセシビリティの向上

全ての利用者（特に障がい者や高齢者など）に対するバリアフリーへの配慮や、アクセシビリティ（利用しやすさ）の向上に努める。

3 事業推進計画

「長井市公共複合施設建設整備基本計画」に基づき、「長井市遊びと学びの交流施設指定管理業務仕様書（総括編）」に沿って事業の実施・改善・開発を推進する。

(1) 市民や地域の暮らしに役立ち、本の魅力を伝える図書館

- ◇ 開閉館・サービスカウンター業務
- ◇ レファレンス業務
- ◇ 予約・リクエストサービス
- ◇ バリアフリーサービス
- ◇ 図書館資料の選定収集・発注・整理・保存・点検業務
- ◇ 読書推進、図書館利用促進業務の充実
- ◇ 特集コーナー、企画展示

(2) 市民活動や地域と連携協働しまちづくりにつなげる図書館

- ◇ 講座、講演会の企画運営
- ◇ 地域資料の選定・受入・保存・整理及び展示業務
- ◇ ボランティア養成業務
- ◇ 視聴覚機材の貸し出し・保管管理に関する業務

(3) みんなが居心地よく、交流の拠点となる図書館

- ◇ 図書館シネマ、おはなしの会、絵本の読み聞かせの運営
- ◇ 街なか図書館の運営・充実と移動図書館「いなほ号」の運行・利用拡充
- ◇ 学校図書館との連携
- ◇ 団体、市立小中学校貸し出し事業、拡大検討
- ◇ ブックフェアの開催

4 事業内容

(1) 市民や地域の暮らしに役立ち、本の魅力を伝える図書館

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

① カウンター業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
資料の貸出・返却及びレファレンス等の日常業務	通年	レファレンスに対する丁寧な対応と、迅速な貸出・返却業務等を実施し、利用者の要望に応え満足度を高める。 ※利用者の意見や要望に応えるレファレンスを推進する。	利用者全般
図書館通帳の無償配布	随時	対象者に図書館通帳を無償で配布し、読書と来館意欲の向上につなげる（4年目） ※R8.3.21現在 R7年度配布数：無償49冊（他 有償41冊）	年長・小学生・中学生 （これ以外是有償配布）

② 館内奉仕に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
読書推進イベント	通年or随時	継続イベントを改善・見直したり、新たに企画したりして読書を推進する。 ※NDC FRIENDS、トショカン・クエスト、おたのしみ福袋、レシート抽選会等	利用者全般
展示コーナー	通年リレー	時々のトピックや図書館からアピールしたいテーマで特集を組むとともに、行政や市民団体等との連携事業を企画する。 ※ 郷土資料の展示、職員おすすめ本等	利用者、市民
特設コーナー	随時	利用者や市民のニーズが多いと思われるテーマ等について分類に依らない蔵書構成でコーナーを設置し利用しやすくする。 ※季節の絵本展示、行事の絵本展示等	利用者、市民
図書館おたのしみ会	未定	「おはなし会“ぶち”」とも連携し、子供も大人も楽しめる企画により、図書館や本への関心を高める。 ※読み聞かせ、図書館見学・体験活動等	利用者、市民

③ 館外奉仕に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
第61回長井市読書感想文コンクール	7月から募集開始	市内の小・中・高校生、一般を対象に感想文を募り、優秀な作品を表彰したり、交流したりする。	小・中・高校生一般

④ 広報・広聴に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
図書館情報の発信	随時	図書館だより、ホームページやSNS、ポスターやチラシ、市報やマスコミなど多様な手段	利用者、市民

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

		により、図書館行事や新刊図書の紹介などの 情報を利用者・市民に発信・掲示する。	
--	--	--	--

(2) 市民活動や地域と連携協働しまちづくりにつなげる図書館

① 館内奉仕に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
おはなしと工作	長期休業中	季節の行事、おはなし会、図書館の本を参考に した工作等を楽しんでもらう。	利用者、市民
講座・講演会の運営	随時	読書に関することや自己啓発につながるような 内容を工夫し、来館を促す機会にする。	利用者、市民
郷土資料等の企画展示	随時	関係機関と連携し、長井市についてより深く理 解できる機会となるような資料展示を行う。	利用者、市民
校外学習の受け入れ (施設見学、職業体験)	随時	学校の意向を受け、主に授業や行事での学 習や体験学習を受け入れる。	主に幼児や小・中 学生・高校生

② 館外奉仕に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
ボランティアの組織化	随時	市民参加型の図書館運営を促進する。(読 み聞かせ、配架補助、本の修理、環境整備等)	利用者、市民
視聴覚資料等の保管	常時	西置賜視聴覚ライブラリー関連のVTR等や 機材を管理・貸与する。	市民全般

③ 広報・広聴に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
長井市子どもの読書活 動推進連絡会	5/26	子どもの読書活動推進の取り組みについて 学校と図書館が相互に理解を深め、連携を 強化して子どもの読書環境を充実する。	市内小中高 各学校担当者
Web配信のPR	随時	おらんだラジオやSNSにより、本の朗読のW eb配信のPRを行う。	市民全般

(3) みんなが居心地よく、交流の拠点となる図書館

① 館内奉仕に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
図書館シネマ	毎月第2 金曜日、他	DVD等の上映をとおして図書館への関心を高 めるとともに、交流の機会を提供する。	利用者、市民
おはなしの会と 読み聞かせ	毎月第4 土曜日、他	幼児や児童の親子、高齢者を対象に絵本の読 み聞かせ・紙芝居・手遊びゲームなどを行う。	幼児、小学生、 高齢者

② 館外奉仕に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
-----	------	-----	-----

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

街なか図書館	通年	長井駅待合室に本棚を設置し、市民から寄贈・寄付された本等を並べて閲覧していただく。	利用者、市民
団体貸出	随時	幼保施設や学校等へ図書をまとめて貸し、非来館型サービスとしての利用を推進する。	幼保施設、学校等
学校図書館充実支援	随時	市内の学校に職員を派遣し、ブックトークや図書に関する奉仕作業や図書館経営に関する助言などを行う。 ※学校の要望を受けて実施体制を整える。	市内小・中学校
ブックフェア	2月中旬	寄贈いただいた書籍を利活用していただくとともに、交流の場となるよう設営する。	利用者、市民

③ 移動図書館の業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
移動図書館「いなほ号」の運行	4月上旬～2月上旬	小学校や幼保施設等を巡回し、交通手段がなく来館が困難な子どもたちに本を貸し出す。	幼児、小学生
オープンテラス「いなほ号」の運営	随時	移動図書館を敷地内に展示し、車内見学や本を手にとれる機会を設け、関心を持ってもらう。	利用者・市民
「いなほ号」利用に係る広報活動	随時	幼児・児童、その保護者を対象に、所蔵している図書の情報や、告知チラシ、利用のための手引き等を発行し広報に努め、利用促進に繋げる。	幼児、小学生 保護者

(4) 図書館職員の資質の向上に努める図書館

研修・会議	実施時期	内 容	実施主体
北日本図書館研究集会 兼 全国公共図書館研究集会	11/26,27	全国の公共図書館の活動に関する研究を交流・協議し研修する。(会場:北海道札幌市)	北日本図書館連盟
山形県図書館職員専門研修	8月、10月	図書館職員の資質・能力の向上を図る。	山形県図書館協会
山形県図書館研究大会	11/6	県内の図書館関係者が一堂に会し、図書館の活動に関する研修や情報交換を行う。 (会場:酒田市)	山形県図書館協会
山形県図書館協会役員会・総会	役員会:6月 総会:書面開催	県内の公共図書館長等が県図書館協会の予算や事業計画、活動について協議するとともに、情報交換を行う。	山形県図書館協会
子どもの読書活動推進 ・講座 ・研修会	7/25 10/8	地域の読書推進及びネットワーク整備に向けて研修する。	置賜教育事務所
置賜地区図書館館長・担当者合同会議	6/26 2/26	置賜地区公共図書館の館長及び実務担当職員が情報交換を行う。	置賜地区公共図書館(室)連絡協議会

第3部【コミュニティセンター・生涯学習施設】

置賜地区図書館職員研修会	未定	置賜地区図書館担当職員のニーズに応じた研修を行い、資質・能力の向上を図る。 (担当:長井市立図書館)	置賜地区公共図書館(室)連絡協議会
--------------	----	---	-------------------

第4部【文教施設】

令和8年度 長井市民文化会館 主催事業実施計画

(1) 市民文化会館主催事業

本年度は、施設の良さを知ってもらうことを第一義に、地域の中に今以上に施設存在と価値を「開いていく」ことを目指す事業として7事業、若い世代の芸術文化との接点を創出すべく「市の未来を担う若い世代」を対象にした事業として4事業、「芸術文化活動・創造的活動」のはじめの一步を後押しする事業として6事業を計画します。

ふれあいコンサートにおいて、くるんと・第一校舎・文教の杜等の市内他施設と連携をし、地域展開・連携を図って参ります。また長井市が目指すダイバーシティ・インクルーシブ社会の体现のため、市民展において保育施設や特別支援学校、福祉関連施設や市内の学校からも幅広く募集し、「長井の心」をテーマにした作品も展示を計画します。

	主催事業名	期日	内容
空間を開く	1 プレミアムライブ 宝くじ文化公演 松崎しげる&渡辺真知子 ジョイントコンサート	2026/10/25	鑑賞事業のフラッグシップと位置付けるべく、著名なアーティストによる公演を開催。 R8年度は宝くじ文化公演によるポップス公演を予定。
	2 ライブ・ニューエイジ	調整中	若年層に支持されるアーティストによる公演を開催し、若い世代に施設価値を訴求する。
	3 パラエティステージ	調整中	音楽・演劇・お笑い・講演・ダンスなど様々なジャンルから市民ニーズに応じた演目を選出し、幅広い層の来館を促進する。
	4 きらきら長井シネマ 「てっぺんの向こうにあなたがいる」	2026/5/9	話題の作品や色褪せない往年の名作など市民ニーズに応じて作品を選出し、市内でも大画面での映画鑑賞を楽しんでいただく。 R8年度は吉永小百合の124本目の出演作を予定。
	5 ふれあいコンサート	調整中	誰もが気軽に芸術鑑賞ができる機会の創出を目的に、くるんと・第一校舎・文教の杜等の市内他施設と連携し無料コンサートを実施する。
	6 グルメコンサート	調整中	地域企業との連携企画として聴覚・視覚だけでなく、嗅覚・味覚も刺激するコンサートを実施する。
	7 “みづは”文化連携	調整中	一市三町の地域間交流を深め、相互の施設価値を高めることを目的に、公演・展示・講座・ワークショップなどを実施する。
世代を開く	8 マイタウンコンサート	2026年11月 調整中	山形交響楽団が山形県内を回り、小中学校の吹奏楽部など、地域の子供達と共演を予定。長井市と共催事業。県の助成金を申請予定。 R8年度も長井高校吹奏楽部が共演予定。
	9 よちびよコンサート 出演：齋藤友佳ほか	2026/7/12	平土間を活用し、親子で鑑賞できるファミリー向けコンサートを開催。0歳から鑑賞可能とし、芸術文化を通じた子どもの情操教育と子育て環境向上に貢献する。
	10 アート・アウトリーチながい	調整中	市内の小学校2校もしくは中学校1校(5カ年で全8校を巡回)で音楽・演劇・落語などの出張公演やワークショップを行う。
	11 ながい子どもアート倶楽部	2026年8月 調整中	幼少期から様々な芸術文化に触れることを目的に、子どもを対象に身近な材料で「ものづくり」を体験できる講座を実施する。
創造性を開く	12 ながいアート倶楽部 フラワーアレンジメント、クラフトテープ初級・上級、金継ぎ、ローズウィンドウ	通年 全48回予定	「ものづくりのまち」にちなんで、手芸・工芸・美術といった身近な材料などで気軽に体験できる講座を開催。
	13 みんなのアトリエ ①クラフトテープ講座参加者と講師による展示会 ②調整中	①2026/6/19～6/21 ②2026/3月 調整中	市民の創作活動の活性化を図るため、「子どもアート倶楽部」「ながいアート倶楽部」などで作成された作品を展示。
	14 市民展	調整中	市内の芸術文化団体、サークルなどの美術作品の展示会を開催し、発表の場を設けて市民の芸術文化活動を支援する。保育施設や特別支援学校、福祉関連施設や市内の学校からも幅広く募集し、「長井の心」をテーマにした作品も展示する。
	15 長井芸術祭	2026/10/9～11	長く受け継がれてきた伝統文化や伝統芸能をはじめ、市内の芸術文化活動の発表の場を設け市民の芸術文化活動の活性化と活動者育成を図る。
	16 マイ・チャレンジ・コンサート	調整中	出演者を公募で集めるジョイントコンサートを開催し、無料または安価で出場いただく。年齢・国籍等を問わず、幅広い層の文化活動者を発掘・支援し、新たなホール利用者を開拓する。
	17 アート・サポート・プロジェクト	選定先と調整のうえ決定	公募により、市内で活動する芸術文化団体・個人の企画を共催事業を実施し、市民の企画力と自立性した活動を支援する。

令和8年度 長井市民文化会館 自主事業実施計画

(2) 自主事業

主催事業を補完することを目的に4事業を計画します。

1	いきいき長井コンサート 昭和歌謡コンサート	2026/6/6	高齢者を対象にしたホール公演の鑑賞機会を設け、高齢者の芸術文化活動の意欲や外出の機会を喚起する。
2	ホールひとりじめ ～マイ・スタジオ～	2026/8/1.2 2027/1/16.17	ホールの素晴らしい音響機能を体感いただくため、気軽に利用できる時間貸しを行う。参加者の希望者によりピアノ利用、録音にも対応する。若年層への先行受付を予定。
3	ながい放送局	通年	動画サイトやSNSを活用して、本施設や事業について広く周知する。様々な事情で来館できない方々にも施設や市の芸術文化について訴求する。
4	アーティスト・アーカイブス	通年	地域の芸術文化活動者の情報をWEB上のポータルサイトに集約し、活動の周知を図る。登録者は主催事業等にも起用し、その活動を支援する。

令和8年度 文教の杜事業・業務計画

1 基本方針

「定款」及び「長井市芸術文化ビジョン」に基づき事業を展開する。

文教の杜ながい定款第3条

文教の杜は、市民に古代からの特色ある地域文化や、書画、彫刻、工芸などの芸術文化を広く紹介し、また、市民の文化交流活動等活発な生涯学習活動の場と機会を提供し、魅力ある活力に満ちた地域づくりに寄与することを目的とする。

長井市芸術文化ビジョン第3章「芸術文化の目指す姿」

市民が身近に芸術文化に親しんでいるまち
芸術文化の担い手が活躍しているまち
芸術文化の活動が街の魅力を高めているまち

2 要旨

文教の杜はこれまで、長井市および山形県の文化財を保護・活用しながら、その歴史と文化の魅力を市内外に発信するとともに、長井市名誉市民である彫刻家・長沼孝三が提唱した「長井の心」を広めるべく、展覧会や体験会など、芸術文化に関する多彩な事業を行ってきた。

第6期の指定管理期間においては、これまでの運営実績や調査研究の成果を最大限に活かしながら、平成30年に選定された国の重要文化的景観「最上川上流域における長井の町場景観」の一翼を担う施設として、市民や地域と連携しながら、活力あるまちづくりに取り組んできた。

令和8年度もこれまでの基本方針を継続しつつ、昨年度より実施している事業広報誌「BUNKA のくぐり戸」の発行、毎週日曜日のガイドツアー、文化活動支援事業を通じて、より市民にとって親しまれ、開かれた場を作っていく。

展覧会事業としては、数年に渡り調査を続けてきた、長井市宮原にあった画廊・翠雲山房に関する展覧会を開催し、長井を核にした市内外の作家交流の拡がりを紐解く。また、現代作家を招聘しての展覧事業も引き続き実施していく。

収蔵管理の面では、デジタルアーカイブの整備を進めるほか、市が主導する施設の修繕・改修計画に対応するため、蔵や倉庫の整理作業を進める。

こうした事業を計画的に推進しながら、令和8年度より新たに雇用する職員とともに事業の安定と充実を図り、今期指定管理期間の目標である「重要文化的景観を構成する文化財や歴史・芸術を通じて、人々が賑やかに交流する文化的空間」の実現をめざす。

3 事業計画

昨年度に引き続き「まちづくり事業」「芸術交流事業」「郷土歴史文化事業」「文化活動支援事業」「広報普及事業」という5つの枠組みを基本に展開する。

1) まちづくり事業

長井市の重要な文化的景観を構成する文化財を活かしながら、市民の協力を得て事業を展開し、文化を土台とした交流の機会を育み、地域の魅力と活力を高めていく事業。

事業例：丸大扇屋 Reboot／小桜館アートナイト／重要な文化的景観に関する講座・ワークショップ

2) 芸術交流事業

長沼孝三が生涯に渡り作品を通じて表現してきた「長井の心」を基軸に、芸術文化を通じて創造的な地域社会を育むとともに、新たな交流の循環を生み出す事業。

事業案：長沼孝三彫塑館での収蔵作品展／翠雲山房展（仮）／時代を超えた芸術交流展／現代作家の見た長井展／芸術に関する講座・ワークショップ

3) 郷土歴史文化事業

地域の特色ある歴史や芸術文化について調査、蒐集、整理、保存、管理し、展覧事業や講座等を通じて広く市民に紹介し、郷土への理解を深め愛郷心を高めようとする事業。

展覧事業案：翠雲山房収蔵作品展①／LOVE! AYAME 展／丸大扇屋 330 年の歴史展／古文書展／郷土や歴史に関する講座・ワークショップ
収蔵管理関連：収蔵品の整理分類作業、デジタルアーカイブの活用、古文書や写真等のデータ化作業、

4) 文化活動支援事業

地域で活動する個人や団体を支援しながら、共に学び高め合う関係を育み、文化の担い手育成と市民交流の機会を創出する事業。

事業案：華展／長井小町の会の昔語りの会／小桜館の文化活動利用促進と利用団体支援／文教の杜友の会優待事業／各事業を通じた文化の担い手育成

5) 広報事業

印刷物やインターネット等を通じて文教の杜事業の価値を伝え、広く共有しながら市民や地域外の人々と文教の杜をつなぐ事業。

事業案：印刷物作成／ウェブメディア活用／季刊のイベントスケジュール広報チラシ「BUNKA のくぐり戸」を発行／近隣の商店にポスター掲示を依頼／A 区南北板場に大型の展示告知パネルを設置／市役所及びくると内のデジタルサイネージに掲載を依頼／山形新聞社等マスメディアへの取材依頼／おらんだラジオでの発信

6) その他の事業

事業案：舟運御膳／菊地隆知の作品を活かしたグッズ制作

令和8年度 置賜生涯学習プラザ運営計画

1 基本方針

長井市置賜生涯学習プラザは、スポーツ及び文化・生涯学習の活動拠点として、健康で文化的な市民生活の向上と活力ある魅力に満ちた地域づくりの創造に資する施設を目指す。

2 基本目標

- ① 施設の保守点検の徹底及び施設修繕等を実施し、安全に楽しく活動できる場を提供する。
- ② 関係機関・団体との連携することにより、スポーツ・文化活動等の拡充を図る。
- ③ 生涯スポーツや生涯学習等の情報提供及び施設の積極的な活用にあ資するPRをおこなう。
- ④ 施設を拠点とする総合型地域スポーツクラブ及び各利用団体との連携、情報共有を図る。
- ⑤ プラザ及び運動公園の管理運営方法に関する調査・検討をおこなう。

3 重点施策

① 施設の保守点検の充実と施設の主な工事・修繕

当施設は、平成元年の竣工から37年が経過し施設設備の老朽化が著しく、年次的に施設修繕工事に取り組むことが急務となっている。引き続き利用者の安全確保を優先とした修繕を実施するとともに、施設設備の保守点検の充実を図る。

- ・施設の保守点検に努め、安全に活動することができるよう管理運営に努める。
- ・施設の環境美化に努め、快適に楽しく利用できる環境づくりに努める。
- ・生涯学習プラザ長寿命化計画に基づき施設の計画的な長寿命化事業を進めていく。
- ・利用者の安全確保を優先し緊急性の高いものから予算の範囲内で適宜改修を進めていく。

② 関係機関・利用団体との連携及び利便性の向上

- ・大会や定期利用団体との連携及び日程等の調整をおこない、円滑で効率的な利用に努める。
- ・各種大会や講演会等の開催が円滑に行われるよう支援を行い、スポーツ・文化活動の推進に努める。

③ 情報提供と積極的なPR活動

- ・市ホームページや市報への情報掲載を行うとともに、館内掲示板を活用し情報の提供を行う。

④ 総合型地域スポーツクラブ「長井花のまちスポーツクラブ」等との連携を図る。

- ・長井花のまちスポーツクラブを軸に、プラザを拠点とした各種活動の拡大を図り、利用する各団体との連携を強化し、より充実した活動が実践できるよう支援をおこなう。

⑤ プラザ及び運動公園の管理運営体制の確立

- ・プラザ及び運動公園の設置効果の発現と効率的な運営を図るため、施設運営・管理及び施設の活用方法について調査、検討をおこなう。